Panasonic

取扱説明書

デジタルカメラ

品番 DMC-FZ300

LUMIX

保証書付き

安全上のご注意
準　備
基　本
撮　る
動　画
見　る
Wi-Fi
他の機器との接続
その他・Q&A

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことに
ありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●ご使用前に「安全上のご注意」（4 ～ 8 ページ）を必ずお読みください。
●さらに詳しい操作説明は、本機の CD-ROM（付属）に記録された「取扱説明書 活用ガイド」（PDF 形式）に記載されています。（88 ページ）
取扱説明書、取扱説明書 活用ガイドは、スマートフォンにダウンロードして読むこともできます。（90 ページ）
●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

パナソニック株式会社　AVCネットワークス社
〒 571-8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

© Panasonic Corporation 2015

SQT0945
M0715KZ0

目次

準備

- ご使用の前に 9
- 付属品 10
- 各部の名前と働き 11
- 撮影前の準備 13
  - レンズフードを付ける 13
  - レンズキャップを付ける 13
  - ショルダーストラップを付ける 14
  - バッテリーを充電する 14
  - バッテリーやカード（別売）を入れる・取り出す 15
  - カードをフォーマット（初期化）する 16
  - 記録可能枚数・時間の目安 16
  - モニター面を表にする 17
  - 時計を合わせる 17

基本

- カメラの構え方 18
- ズームを使う（ズームレバー / サイドレバー） 18
- モニターとファインダーを切り換える（[LVF] ボタン） 19
- 写真を撮る（シャッターボタン） 19
- 撮影モードを選ぶ（モードダイヤル） 20
- サイドダイヤル / 後ダイヤル 20
- サイドボタン 22
- 画面の表示情報を切り換える（[DISP.] ボタン） 22
- タッチ操作（タッチパネル） 23
  - 画面をタッチして撮影する（タッチシャッター） 24
  - 狙った場所に簡単に明るさを合わせる（タッチ AE） 24
- メニューを使って設定する 25
- よく使うメニューをすぐに呼び出す（クイックメニュー） 26
- よく使う機能をボタンに割り当てる（ファンクションボタン） 26

撮る

- カメラにおまかせで撮る（インテリジェントオートモード） 27
  - インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードを切り換える 28
  - 手持ちで夜景を撮る（i 手持ち夜景） 28
  - 階調豊かな写真に合成する（iHDR） 28
  - 背景をぼかして撮る（ボケ味コントロール） 29
  - 明るさ（露出）や色合いを変えて撮る 29
- 絞り値とシャッタースピードを自動で設定して撮る（プログラム AE モード） 30
- 絞り値 / シャッタースピードを決めて撮る 30
  - 絞り値を決めて撮る（絞り優先 AE モード） 30
  - シャッタースピードを決めて撮る（シャッター優先 AE モード） 31
  - 絞り値とシャッタースピードを決めて撮る（マニュアル露出モード） 31
  - 絞り効果 / シャッタースピード効果を確認する（プレビューモード） 32
- パノラマ写真を撮る（パノラマモード） 33
- 撮影シーンに合わせて撮る（シーンガイドモード） 34
- 画像効果を変えて撮る（クリエイティブコントロールモード） 34
- 絞り / シャッタースピードを決めて動画を撮る（クリエイティブ動画モード） 35
  - 動画撮影中の操作音を抑えて撮る 35
- お好みの設定を登録して撮る（カスタムモード） 36
  - お好みのメニュー設定を登録する（カスタムセット登録） 36
  - 登録したカスタムセットで撮る 36
- ホワイトバランスを調整する 37
- 画質とサイズを設定する 38
  - 写真の横縦比を変える 38
  - 記録画素数を設定する 38
  - 画像の圧縮率を設定する（クオリティ） 38
- 自動でピントを合わせる（オートフォーカス） 39
  - フォーカスモードを選ぶ（AFS、AFF、AFC） 39
  - オートフォーカスモードを切り換える 40
- 近づいて撮る（マクロ撮影） 40
- 手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス） 41
- ピントや露出を固定して撮る（AF/AE ロック） 42
- 露出を補正して撮る 42
- ISO 感度を設定する 43
- シャッター方式を設定する 43
- ドライブモードを選ぶ 44
- 連写する 44
- 4K フォトを撮る 45
  - 4K 連写ファイルから写真を選び保存する 46
- 露出を自動的に変えながら撮る（オートブラケット） 47
- セルフタイマーで撮る 47

（必ずお読みください）安全上のご注意 ..... 4 ～ 8

■ 手ブレを補正する 48
■ ズームの種類と用途 48
■ フラッシュを使って撮る 49
フラッシュモードを切り換える 49
■ 操作音と発光の禁止を一括で設定する（サイレントモード） 50

動画

■ 動画を撮る 50
4K 動画を撮る 51

見る

■ 写真を見る 52
■ 動画を見る 52
■ 再生方法を切り換える 53
拡大して見る（再生ズーム） 53
画像を一覧で見る（マルチ再生） 53
画像を撮影日ごとに見る（カレンダー再生） 53
■ 写真や動画を消す（消去） 54
■ [再生] メニューを使う 55
[RAW 現像] 55
[動画分割] 56

Wi-Fi

■ Wi-Fi® 機能でできること 57
■ Wi-Fi 機能について 57
■ スマートフォンとつないで使う 58
スマートフォン / タブレットアプリ「Panasonic Image App」をインストールする 58
スマートフォンと接続する 59
スマートフォンで撮影する（リモート撮影） 60
カメラの画像を再生する 61
カメラの画像を保存する 61
カメラの画像を SNS へ送信する 61
スマートフォンから、カメラの画像に位置情報を追加する 62
スナップムービーで撮影した動画をスマートフォンでお好みに結合する 62

他の機器との接続

■ 写真や動画をパソコンに残す 63
付属のソフトウェアについて 63
付属ソフトウェアをインストールする 64
写真、動画を取り込む 65

その他・Q & A

■ 別売品のご紹介 66
■ モニター / ファインダーの表示一覧 68
■ メッセージ表示 71
■ メニュー一覧 72
[撮影] 72
[動画] 73
[カスタム] 74
[セットアップ] 75
[再生] 76
■ Q&A 故障かな？と思ったら 77
■ 使用上のお願いとお知らせ 81
■ 無線 LAN 使用上のお願い 85
■ 仕様 86
■ さらに詳しい説明は 88
■ CLUB Panasonic ご愛用者登録のご案内 89
■「パナソニックスマートアプリ」のご案内 90
■ 保証とアフターサービス 91

■本文中の記号について

MENU [MENU/SET] ボタンを押してメニューの設定をすることを示しています。

[カスタム] メニューで設定を行う項目を示しています。

上手に使うためのヒントや撮影のポイントを記載しています。

本書では、メニュー設定の手順を次のように説明しています。
MENU ボタン→ [撮影] →［クオリティ］→［ ］

● 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。

⚠ 危険

バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない

（※以降は、「バッテリー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものは使わない
- 分解や加工（はんだづけなど）、加圧、加熱（電子レンジやオーブンなどで）しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
- 端子部（⊕・⊖）に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

バッテリーチャージャー※は、本機専用のバッテリーにのみ使用する

（※以降は、「チャージャー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーは、本機専用のチャージャーで充電する

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す
- ●煙が出たり、異常なにおいや音がする
- ●映像や音声が出ないことがある
- ●内部に水や異物が入った
- ●電源プラグが異常に熱い
- ●本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。
- チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
- 電源を切り、販売店にご相談ください。

チャージャーは、誤った使いかたをしない

感電や、ショートによる火災の原因になります。
- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外（交流 100 V ～ 240 V 以外）で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない

電源プラグは、正しく扱う

感電や、ショートによる火災の原因になります。
- 定期的に乾いた布でふく（ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります）
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しない

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止

⚠ 警告

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。
- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。
- 粉じんの発生する場所でも使わない

雷が鳴ったら、触れない

接触禁止

感電の原因になります。
- 本体やチャージャーには、金属部があります。

乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。
- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。

メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

ショルダーストラップを乳幼児の手の届くところに置かない

誤ってショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながるおそれがあります。

⚠ 警告

ショルダーストラップは肩に掛けて使う

けがや事故の原因になります。
・首に掛けての使用はしない

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。
長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。
※血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

航空機内では電源を切る※

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。
※やむをえずこのような環境でカメラ本体を使用するときは、無線 LAN 機能を使用しないでください。ただし、航空機の離着陸時など、カメラ本体の使用が禁止されている場合もありますので注意してください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、電源を切る

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 15 cm以上離す

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは電源を切る

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

⚠ 注意

フラッシュ発光部および AF 補助光は、至近距離で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。
- 乳幼児を撮影するときは、1 m 以上離してください。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。
発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。
- 発光直後は、しばらく触らないでください。

次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。
- 異常に温度が高くなるところ（特に真夏の車内やボンネットの上など）
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ

次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。
- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

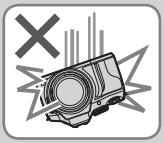
レンズキャップやひもを持って、本機をぶら下げたり、振り回したりしない

ひもが切れて本機が落下し、けがや破損の原因になることがあります。

ご使用の前に

■本機の取り扱いについて

本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。



- 下記のような状態で使用すると、レンズやモニター、ファインダー、外装ケースが破壊される可能性があります。
  また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
  - 本機を落とす、またはぶつける
  - レンズ部やモニターを強く押さえつける

本機は、防じん防滴に配慮した構造となっていますが、ほこりや水滴の侵入を完全に防ぐものではありません。防じん防滴性能を満足させるには、以下のことにお気をつけください。

- **内蔵フラッシュは、閉じてお使いください。**
- 本機の扉部などは、しっかりと閉じてください。開閉時は、砂やほこり、水滴などの液体が内部に侵入しないようにお気をつけください。

本機に砂やほこり、水滴などの液体が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

- タッチパネル操作が誤認識されたり、フラッシュ表示が誤表示される場合があります。
- 付着したままモニターを収納すると、故障の原因になります。

■露付きについて（レンズやモニター、ファインダーが曇るとき）

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやモニター、ファインダーの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- 露付きが起こった場合、電源スイッチを［OFF］にし、2 時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■撮影内容の補償はできません

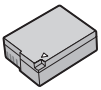
本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

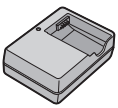
■著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。
個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

付属品

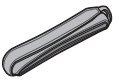
付属品をご確認ください。（品番は 2015 年 7 月現在）

☐ 
バッテリーパック
DMW-BLC12
• 充電してからお使いください。
（本書では、「バッテリー」と表記します）

☐ 
バッテリーチャージャー※
DE-A79A
（本書では、「チャージャー」と表記します）

☐
レンズキャップ
レンズキャップひも
VYQ5607

☐
レンズフード
SYQ0547

☐ 
ショルダーストラップ
VFC4453

☐
USB 接続ケーブル
K1HY08YY0031

☐
CD-ROM
• ソフトウェア
• 取扱説明書 活用ガイド
（パソコンにインストールしてお使いください）

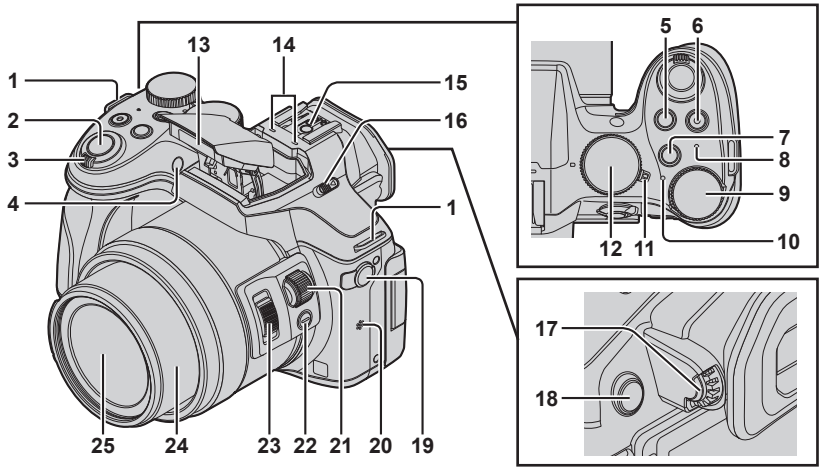
※予備のチャージャーを購入されるときは、別売品のチャージャー（DMW-BTC6）をお買い求めください。

● **メモリーカードは別売です。**（本書では「カード」と表記します）
● 別売品については 66 ページを参照してください。
● 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
● 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

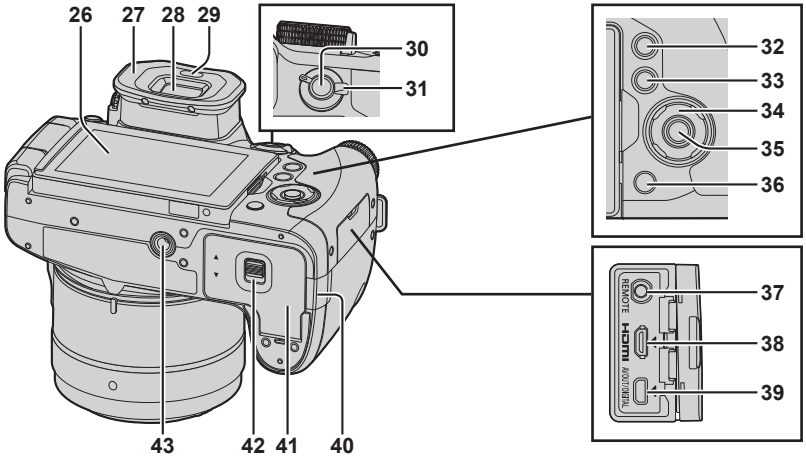
パナソニックグループの
ショッピングサイト
Panasonic Store

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト
「パナソニックストア」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナソニックストア」のサイトをご覧ください。
http://jp.store.panasonic.com/

各部の名前と働き



1	ショルダーストラップ取り付け部（P.13、14）
2	シャッターボタン（P.19）
3	ズームレバー（P.18）
4	セルフタイマーランプ（P.47）/ AF 補助光ランプ（P.18）
5	[⊠]（露出補正）ボタン（P.42）/ [Fn1（ファンクション）] ボタン（P.26）
6	動画ボタン（P.50）
7	[Fn2（ファンクション）] ボタン（P.21）
8	Wi-Fi® 接続ランプ（P.57）
9	後ダイヤル（P.21）
10	電源表示ランプ（P.17）
11	電源スイッチ（P.17）
12	モードダイヤル（P.20） 撮影モードを設定できます。
13	フラッシュ発光部（P.49）
14	ステレオマイク（P.18） 指などで塞がないようにしてください。音が記録されにくくなります。
15	ホットシュー
16	フラッシュオープンレバー（P.49） フラッシュが開き、フラッシュ撮影が可能になります。
17	視度調整ダイヤル（P.19）
18	[LVF] ボタン（P.19）/ [Fn4（ファンクション）] ボタン（P.26）
19	[MIC（マイク）] 端子 外部マイク（別売）を使用すると、内蔵マイクに比べて高音質の音声が録音できます。
20	スピーカー（P.18） 指などで塞がないようにしてください。音が聞こえにくくなります。
21	サイドダイヤル（P.20）
22	サイドボタン（P.22）
23	サイドレバー（P.18）
24	レンズ鏡筒
25	レンズ部



26 タッチパネル / モニター（P.17、23、68）

27 アイカップ（P.81）

28 ファインダー（P.19、68）

29 アイセンサー（P.19）

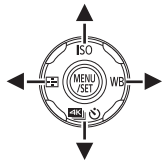
30 [AF/AE LOCK（ロック）] ボタン（P.42）

31 フォーカスモードレバー（P.39、41）

32 [▶]（再生）ボタン（P.52）

33 [DISP.（ディスプレイ）] ボタン（P.22）
画面の表示を切り換えます。

34 カーソルボタン
メニューを表示したり、項目の選択や、数値の設定などができます。



[ISO]（ISO 感度）（▲）（P.43）
[WB]（ホワイトバランス）（▶）（P.37）
[4K]（ドライブモード）（▼）（P.44）
[⊡]（オートフォーカスモード）（◀）（P.40）
• 本書ではカーソルボタンの上下左右を▲▼◀▶で説明しています。

35 [MENU/SET（メニュー　セット）] ボタン

36 [Q.MENU（クイックメニュー） 🗑/↩]（消去 / 戻る）ボタン（P.26、54）/
[Fn3（ファンクション）] ボタン（P.26）

37 [REMOTE（リモート）] 端子

38 [HDMI] 端子※

39 [AV OUT（アウト）/DIGITAL（デジタル）] 端子※（P.65）

40 DC カプラー扉（P.15）
ACアダプターを使用するときは、当社製の ACアダプター（別売：DMW-AC10）と DC カプラー（別売：DMW-DCC8）を使用してください。

41 カード / バッテリー扉（P.15）

42 開閉レバー（P.15）

43 三脚取り付け部
ねじの長さが 5.5 mm 以上の三脚を取り付けると、本機を三脚にしっかり固定できない場合や、本機を傷つける場合があります。

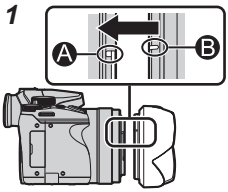
※本機とテレビを HDMI マイクロケーブルまたは AV ケーブル（別売）で接続すると、写真や動画をテレビで見ることができます。
詳しくは、「取扱説明書 活用ガイド」（PDF 形式）をお読みください。

撮影前の準備

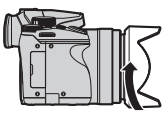
レンズフードを付ける

- レンズフードをゆがませるような持ち方はしないでください。
- 電源スイッチが［OFF］になっていることを確認してください。
- フラッシュはあらかじめ閉じておいてください。

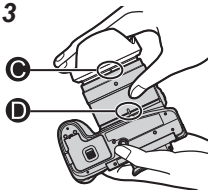
1



2



3



1 **レンズフードの取り付けマーク（Ⓑ）をレンズ先端の取り付け位置（Ⓐ）の少し上に合わせる**

2 **レンズフードを矢印の方向に回してはめ込む**

3 **「カチッ」と音がするまで回し、レンズフードの取り付けマーク（Ⓒ）と本機底面のマーク（Ⓓ）を合わせる**

- 確実にレンズフードが付いていることを確認して、画像にレンズフードが映っていないことを確認してください。

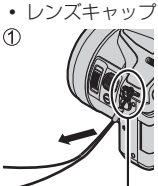
- **レンズフードを一時的に外して運ぶ場合は、向きを逆にして取り付けることをお勧めします。撮影時は元の向きに付け直してください。**
- フラッシュ使用時にレンズフードを付けていると、フラッシュ光がレンズフードに遮られ、画面の下が暗く（ケラレ）なり、調光もできなくなります。レンズフードを外して使用することをお勧めします。

レンズキャップを付ける

レンズ保護のため、撮影していないときはレンズキャップを付けておいてください。

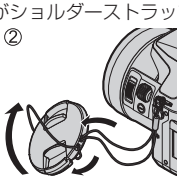
- レンズキャップひもで本機をぶら下げたり、振り回したりしないでください。
- 電源スイッチを［ON］にするときは、必ずレンズキャップを外してください。
- レンズキャップひもがショルダーストラップなどとからまないようにお気をつけください。

①

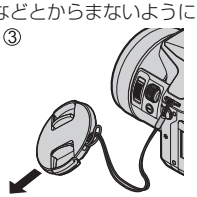


ショルダーストラップ取り付け部

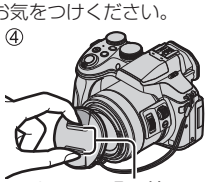
②



③



④

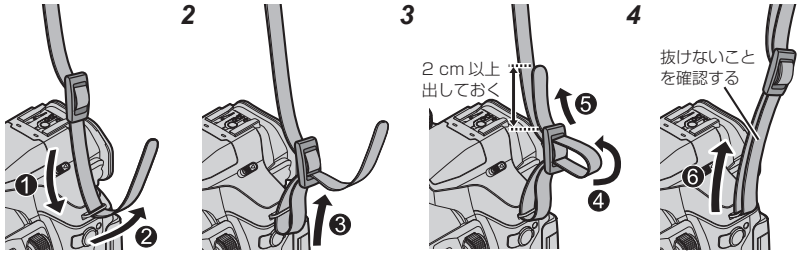


ここをつまんで取り付ける / 取り外す

① 本機のショルダーストラップ取り付け部にレンズキャップひもを通す
② レンズキャップにひもを通し、輪にくぐらせる
③ ひもを締める
④ 本機にレンズキャップを取り付ける

ショルダーストラップを付ける

落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてご使用いただくことをお勧めします。



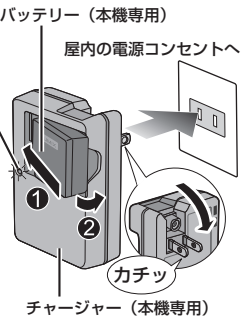
- 手順 ***1*** ～ ***4*** に従って、もう片方のショルダーストラップも取り付けてください。

バッテリーを充電する

本機で使えるバッテリーは DMW-BLC12 です。

1 バッテリーをしっかり取り付ける

2 プラグを起こし、電源コンセントへしっかり差し込む



■充電ランプ（CHARGE）

点灯：充電中

消灯：充電完了

（電源コンセントからチャージャーを抜いてバッテリーを外す）

点滅したら：

- バッテリーの温度が低すぎる、または高すぎます。
  室温 10 ℃～ 30 ℃で充電することをお勧めします。
- バッテリーやチャージャーの端子部が汚れています。乾いた布でふいてください。

■充電時間について

充電時間	約 140 分

- **充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温 / 低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。**

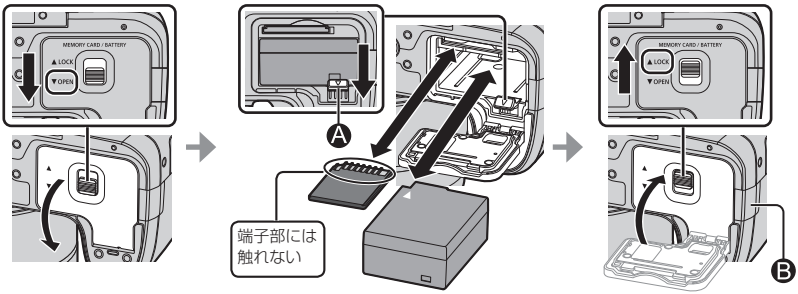
海外旅行先で使う

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での使用は問題ありません。

- 電源電圧（100 V ～ 240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
- 国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。変換プラグは旅行会社や販売店にご相談のうえ、お求めください。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがありますので、使用しないでください。

バッテリーやカード（別売）を入れる・取り出す

• 電源スイッチが［OFF］になっていることを確認してください。



● **バッテリー：**
向きに気をつけて、ロック音がするまで確実に奥まで挿入し、バッテリーに Ⓐ のレバーがかかっていることを確認してください。取り出すときは、Ⓐ のレバーを矢印方向へ押して取り出してください。

● **カード：**
向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れてください。取り出すときは、カードの中央を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜いてください。

● **DC カプラー扉（Ⓑ）：**
DC カプラー扉をしっかりと閉めたことを確認後、カード / バッテリー扉を閉めてください。

■カードについて

SD 規格に準拠した次のカード（当社製推奨）が使用できます。当社製カードで動作確認済みです。

SD メモリーカード /microSD カード※	512 MB ～ 2 GB
SDHC メモリーカード /microSDHC カード※	4 GB ～ 32 GB
SDXC メモリーカード	48 GB、64 GB

※本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。

• **本機は UHS-Ⅰ UHS Speed Class 3 規格の SDHC/SDXC メモリーカードに対応しています。**

■動画撮影や 4K フォトの撮影とスピードクラスについて

動画の［記録方式］（P.51）や［画質設定］（P.51）によって必要なカードが異なります。
4K フォトの撮影には対応したスピードクラスのカードが必要になります。以下の SD スピードクラスや UHS スピードクラスに対応したカードをお使いください。

• SD スピードクラスや UHS スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

［記録方式］	［画質設定］	スピードクラス	表示の例
AVCHD	すべて	Class 4 以上	CLASS④ ④
MP4	FHD/HD/VGA		
MP4	4K/ハイスピード動画	UHS Speed Class 3	U3
4K フォト撮影時		UHS Speed Class 3	U3

• 最新情報：http://panasonic.jp/support/dsc/

カードをフォーマット（初期化）する

本機で撮影する前に、カードをフォーマットします。**フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、必要なデータを保存してからフォーマットしてください。**

1 メニューを設定する（P.25）

MENU ボタン→ 🔧［セットアップ］→［フォーマット］

- 確認画面が表示されます。［はい］を選ぶと実行されます。

記録可能枚数・時間の目安

記録可能枚数・時間はカードの容量と比例して増減します。（撮影条件、カードの種類により変化します）

■記録可能枚数（写真：枚）

- **画像横縦比［4:3］、クオリティ［▪▪］の場合**

記録画素数	8 GB	16 GB	32 GB	64 GB
L（12M）	1140	2320	4650	9150
EX M（8M）	1620	3270	6550	13000
EX S（3M）	3220	6500	13030	24700

- **画像横縦比［4:3］、クオリティ［RAW▪▪］の場合**

記録画素数	8 GB	16 GB	32 GB	64 GB
L（12M）	350	720	1450	2880
M（8M）	390	790	1600	3180
S（3M）	450	900	1820	3600

■記録可能時間（動画撮影時）（h：時間、m：分、s：秒）

- 記録可能時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。
- **記録方式［AVCHD］の場合**

画質設定	8 GB	16 GB	32 GB	64 GB
[FHD/28M/60p]	37m00s	1h15m	2h30m	5h00m
[FHD/17M/60i]	1h00m	2h00m	4h05m	8h15m
[FHD/24M/30p] / [FHD/24M/24p]	43m00s	1h25m	2h55m	5h50m

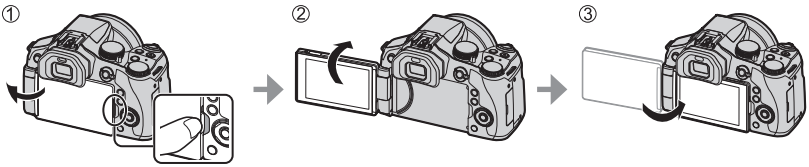
- **記録方式［MP4］の場合**

画質設定	8 GB	16 GB	32 GB	64 GB
[4K/100M/30p] / [4K/100M/24p]	9m00s	20m00s	42m00s	1h20m
[FHD/28M/60p]	37m00s	1h15m	2h30m	5h00m
[FHD/20M/30p]	49m00s	1h40m	3h20m	6h40m
[HD/10M/30p]	1h30m	3h10m	6h25m	12h50m
[VGA/4M/30p]	3h25m	7h00m	14h10m	28h15m

● 周囲の温度が高かったり連続で動画撮影を行った場合は、機器保護のため、［⚠］が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。
● ［画質設定］のサイズが［FHD］、［HD］、［VGA］の MP4 動画の場合：
連続記録時間が 29 分 59 秒を超える場合やファイルサイズが 4 GB を超える場合は、記録を停止します。
• ［FHD］は、ファイルサイズが大きいので 29 分 59 秒より前に撮影を終了します。
● ［画質設定］のサイズが［4K］の MP4 動画の場合：
連続記録時間が 29 分 59 秒を超えると記録を停止します。（ファイルサイズが 4 GB を超える場合は、一時中断することなく動画撮影を続けることができますが、動画ファイルは分かれて記録・再生されます）

モニター面を表にする

お買い上げ時、モニターは収納状態になっています。下図のようにしてモニター面を表にします。



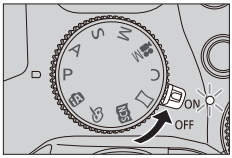
① モニター右側のくぼみに指を掛けて左側へ開く（最大 180° 開きます）
② レンズ方向に 180° 回転させる
③ 元の位置へ閉じる

● **モニターは十分開いてから回転させ、無理な力を加えないようお気をつけください。故障の原因になります。**
● モニターを使用しないときは、汚れや傷防止のためモニターを内側に収納しておくことをお勧めします。

時計を合わせる

お買い上げ時は日時が設定されていません。

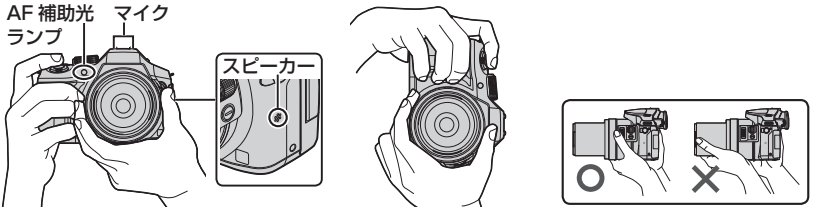
1 **電源スイッチを［ON］にする**
• 電源が入ると電源表示ランプが点灯します。
2 **［MENU/SET］ボタンを押す**
3 **◀▶ で合わせたい項目（年・月・日・時・分）を選び、▲▼ で設定する**
4 **［MENU/SET］ボタンを押す**
5 **［時計を設定しました］と表示されたら、［MENU/SET］ボタンを押す**
6 **［ホームエリアを設定してください］と表示されたら、［MENU/SET］ボタンを押す**
7 **◀▶ でお住まいの地域を選び、［MENU/SET］ボタンを押す**



カメラの構え方

両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

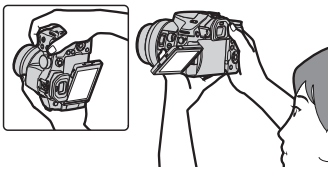
- **フラッシュ発光部や AF 補助光ランプ、マイク、スピーカーを指などで塞がないでください。**
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないように気をつけてください。
- 撮影の際は、必ずレンズキャップを外してください。
- 足場が安定しているか確認し、周囲の人や物などにぶつからないよう気をつけて撮影してください。
- レンズ鏡筒をつかんで撮影しないでください。レンズ収納時に指を挟むおそれがあります。



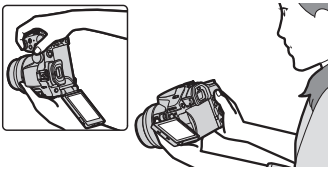
■フリーアングル撮影

モニターの角度を調節すると、さまざまなアングルからの撮影が可能になり便利です。

ハイアングル撮影



ローアングル撮影



ズームを使う（ズームレバー / サイドレバー）

ズームレバーまたはサイドレバーを操作して、写す範囲を調整できます。

ズームレバー	サイドレバー
ズームレバーを回す	**サイドレバーをスライドさせる**
T 側 ：望遠、大きく撮る W 側：広角、広く撮る	
回す角度が大きい：ズームスピードが速い 回す角度が小さい：ズームスピードが遅い	スライド幅が大きい：ズームスピードが速い スライド幅が小さい：ズームスピードが遅い

● ズーム中、レンズ鏡筒には触れないでください。

● ズームの種類と用途について、詳しくは 48 ページをお読みください。

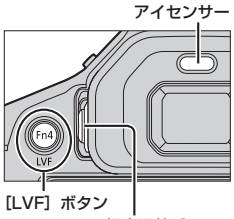
モニターとファインダーを切り換える（[LVF] ボタン）

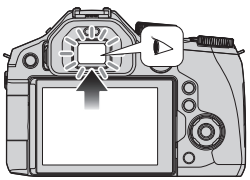
1 **[LVF] ボタンを押す**

• 以下のように切り換わります。

ファインダー / モニター自動切換※ → ファインダー表示※ → モニター表示

※［カスタム］メニューの［アイセンサー AF］(P.74) を［ON］に設定時は、アイセンサーが働くとカメラが自動的にピント合わせを行います。





■ファインダー / モニター自動切換について

ファインダー / モニター自動切換では、ファインダーに目や物を近づけると、アイセンサーにより自動的にファインダー表示に切り換わります。

■視度調整について

ファインダー内に表示される文字がはっきり見えるまで視度調整ダイヤルを回して調整してください。

写真を撮る（シャッターボタン）

• [4K ⏱] ボタン（▼）を押して、ドライブモード（P.44）を [□]（単写）に設定する。

1 **シャッターボタンを半押し（軽く押す）して被写体にピントを合わせる**

- **[フォーカス / レリーズ優先]（P.74）が［フォーカス］に設定されているときは、ピントが合うまで撮影できません。**
- メニュー操作中や画像の再生中でも、シャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影ができる状態にすることができます。
- 絞り値とシャッタースピードが表示されます。（フラッシュ発光時を除き、適正露出にならないときは、赤くなり点滅します）
- 暗い環境ではフォーカス表示が［●LOW］と表示され、通常よりピント合わせに時間がかかることがあります。
- ［●LOW］を表示後に夜空の星などを検知した場合、星空 AF が働きます。ピントが合うと、フォーカス表示が［●STAR］と表示され、ピントを合わせた AF エリアが表示されます。（星空 AF で検知できるのは、画面中央の約 1/3 の範囲のみになります）

フォーカス表示
（ピントが合う：点灯
ピントが合わない：点滅）

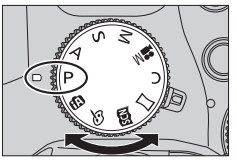
2 **シャッターボタンを全押し（さらに押し込む）して撮影する**

撮影モードを選ぶ（モードダイヤル）

モードダイヤルを回すことで、撮影モードを選ぶことができます。

1 モードダイヤルを切り換える

- **モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。**



iA インテリジェントオートモード（P.27）
カメラにおまかせで撮影します。

iA+ インテリジェントオートプラスモード（P.28）
明るさ（露出）や色合いもお好みに調整できます。

P プログラム AE モード（P.30）
カメラが決めた絞り値とシャッタースピードで撮影します。

A 絞り優先 AE モード（P.30）
絞り値を決めて撮影します。

S シャッター優先 AE モード（P.31）
シャッタースピードを決めて撮影します。

M マニュアル露出モード（P.31）
絞り値とシャッタースピードをそれぞれ決めて撮影します。

M クリエイティブ動画モード（P.35）
絞り値とシャッタースピードをそれぞれ決めて動画を撮影します。
- 写真撮影はできません。

C カスタムモード（P.36）
あらかじめ登録しておいた設定で撮影します。

パノラマモード（P.33）
パノラマ写真を撮影します。

SCN シーンガイドモード（P.34）
撮影シーンに合わせて撮影します。

クリエイティブコントロールモード（P.34）
お好みの画像効果を選んで撮影します。

サイドダイヤル / 後ダイヤル

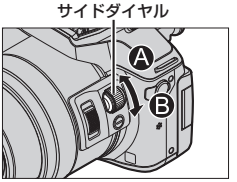
サイドダイヤルを回してピント調整、後ダイヤルを回して絞り値やシャッタースピードの設定ができます。項目の選択や数値の設定もできます。
- 本書ではダイヤル操作を右記のように表します。

サイドダイヤルを回す：
後ダイヤルを回す：

サイドダイヤル

次の場合にピントの調整ができます。
- マニュアルフォーカス時
- オートフォーカス時※

※フォーカスモードレバーを［AFS/AFF］、［カスタム］メニューの［AF+MF］（P.74）を［ON］に設定時のみ



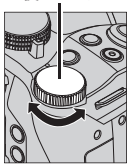
Ⓐ 側に回す：近くにピントを合わせる
Ⓑ 側に回す：遠くにピントを合わせる

後ダイヤル

次の撮影モードでは、絞り値やシャッタースピードなどを設定できます。

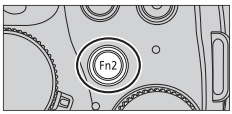
モードダイヤル	後ダイヤル※1
［P］（P.30）	プログラムシフト
［A］（P.30）	絞り値
［S］（P.31）	シャッタースピード
［M］（P.31）	シャッタースピード / 絞り値※2

※1 サイドダイヤルでも設定できます。（P.22）
※2［⊠］ボタン /［Fn1］ボタンを押すごとに、シャッタースピード設定操作と絞り値設定操作の切り換えができます。



サイドダイヤルと後ダイヤルの割り当てを一時的に変更する（ダイヤル動作切換）

ファンクションボタンの［ダイヤル動作切換］を使うと、サイドダイヤルまたは後ダイヤルの割り当てを変更できます。
お買い上げ時は、［Fn2］に［ダイヤル動作切換］が設定されています。（P.26）



■撮影シーンとお勧め設定

光源や明暗差が複雑なシーン	連写撮影するとき
• サイドダイヤル：ホワイトバランス • 後ダイヤル：　ISO 感度 サイドダイヤルの［ホワイトバランス］で色合いを選び、後ダイヤルの［ISO 感度］でISO 感度を選ぶ設定です。（お買い上げ時の設定です）	• サイドダイヤル：ドライブモード • 後ダイヤル：　4K フォト サイドダイヤルの［ドライブモード］で連写や 4K フォトに切り換え、後ダイヤルの［4K フォト］で 4K フォトの撮影の方法を選ぶ設定です。

● 一時的にサイドダイヤルまたは後ダイヤルに割り当てる項目は、［カスタム］メニューの［ダイヤル設定］の［ダイヤル動作切換設定］で設定できます（P.75）

1 **［Fn2］ボタンを押す**
- サイドダイヤルと後ダイヤルそれぞれに割り当てた機能のガイドが表示されます。
- 何も操作をしない場合、数秒後にガイドの表示が消えます。

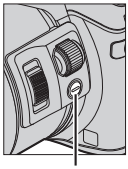
2 **ガイドが表示されている間に、サイドダイヤルまたは後ダイヤルを回す**
- それぞれのダイヤルに割り当てた設定が変更されます。

3 **［MENU/SET］ボタンを押し、決定する**
- 以下の操作でも、同じ操作ができます。
  - シャッターボタンを半押しする
  - ［Fn2］ボタンを押す

● サイドダイヤルと後ダイヤルの一時的な割り当ての操作は、ガイドの表示中（手順 ***1***）や設定画面（手順 ***2***）でのみ有効です。

サイドボタン

撮影画面でサイドボタンを押すと、2 通りの使い方ができます。



■フォーカス動作をサポートする機能を呼び出す

（オートフォーカス時）

サイドボタンを押すと、マクロ撮影の選択画面が表示されます。(P.40)

- インテリジェントオート（[iA] または [iA+]）モードでは、追尾 AF になります。(P.28)

（マニュアルフォーカス時）

サイドボタンを押すと、一時的にオートフォーカスが働きます。

■サイドダイヤルの動作を切り換える

① メニューを設定する (P.25)

MENU ボタン→ [カスタム] → [サイドボタン設定] → [F/SS]

② サイドボタンを押す

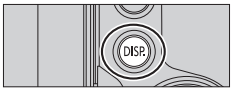
- サイドダイヤルを回して、絞り値やシャッタースピードなどを設定できます。
  サイドボタンを押すごとに、サイドダイヤルの設定操作を切り換えることができます。
  絞り値またはシャッタースピードの設定 ◀—▶ ピント調整 (P.20、21)

● お買い上げ時の設定に戻すには、手順 ① で［AF/FOCUS］を選びます。

● マニュアル露出モード時、サイドダイヤルで絞り値を、後ダイヤルでシャッタースピードを設定できます。［⊠］ボタン /［Fn1］ボタンを押すと、両ダイヤルの設定操作を切り換えることができます。

画面の表示情報を切り換える（[DISP.] ボタン）

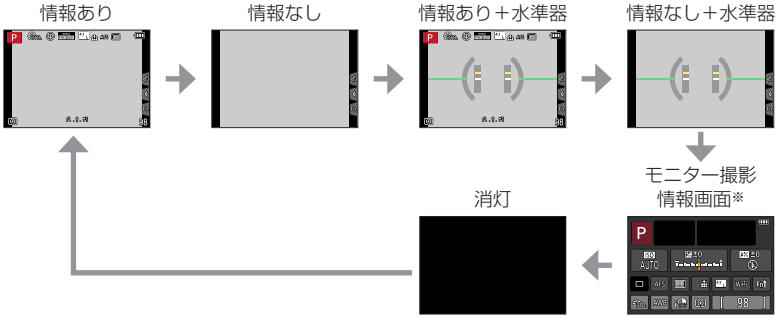
1 ［DISP.］ボタンを押して表示を切り換える



- 約 1 分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.] ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。

撮影時（[▭] モニタースタイル）

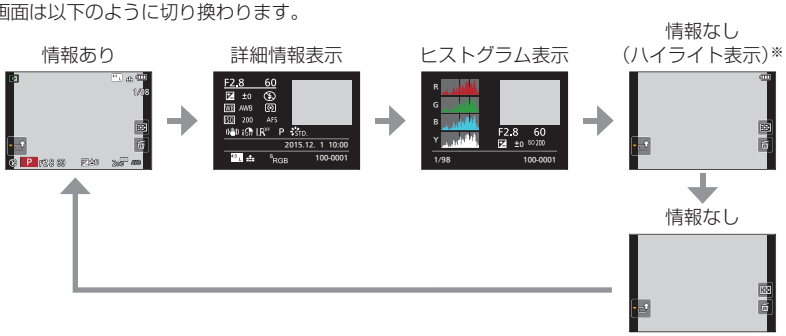
- 画面は以下のように切り換わります。



※［カスタム］メニューの［モニター撮影情報画面］(P.75) を［ON］にしているときのみ表示されます。各項目をタッチすると、設定を直接変更できます。

再生時

• 画面は以下のように切り換わります。



※［カスタム］メニューの［ハイライト表示］（P.74）を［ON］にしているときのみ表示されます。

タッチ操作（タッチパネル）

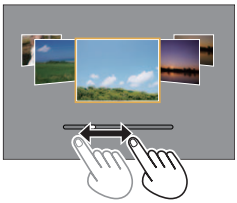
本機のタッチパネルは、静電容量方式です。タッチパネルは直接指でタッチしてください。

■タッチする

タッチパネルに触れて離す動作です。複数のアイコンを同時にタッチすると、正常に動作しないことがありますので、アイコンの中央付近をタッチしてください。

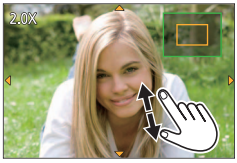
■ドラッグする

タッチパネルに触れたまま動かす動作です。再生時は画像を送ることなどもできます。



■ピンチする（広げる / 縮める）

タッチパネルを 2 本の指で広げる（ピンチアウト）と拡大し、縮める（ピンチイン）と縮小します。



画面をタッチして撮影する（タッチシャッター）

撮影モード：iA iA+ P A S M 動画M C カスタム SCN

画面に表示されている被写体をタッチするだけで、ピントを合わせて写真を撮影します。

1 [ ] をタッチする

2 [ ] をタッチする

- アイコンが [ ] に変わり、タッチシャッター撮影が可能になります。

3 撮影したい被写体をタッチする

- タッチした場所にピントを合わせて、撮影します。

■タッチシャッターを解除するとき

[ ] をタッチする

狙った場所に簡単に明るさを合わせる（タッチ AE）

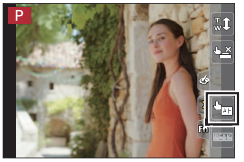
撮影モード：iA iA+ P A S M 動画M C カスタム SCN

タッチした位置に、簡単に明るさを合わせることができます。人物の顔が暗く写るときに、顔に合わせて画面を明るくすることなどができます。

1 [ ] をタッチする

2 [ ] をタッチする

- 明るさを合わせる位置の設定画面が表示されます。
- ［測光モード］はタッチ AE 専用の［ ］に変わります。



3 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- ［リセット］をタッチすると、明るさを合わせる位置は中央に戻ります。

4 ［決定］をタッチする

■タッチ AE 機能を解除するとき

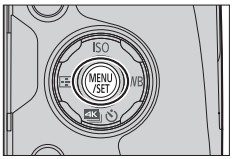
[ ] をタッチする

- 測光モードが元に戻り、明るさを合わせる位置が解除されます。

メニューを使って設定する

メニューを使って、本機の設定や撮影機能の設定、再生機能の操作などが行えます。
- モードにより、表示されるメニューの種類や項目は異なります。
- メニュー項目により、設定方法が異なります。

1 **［MENU/SET］ボタンを押してメニューを表示する**



［撮影］ (P.72 ～)	画像横縦比、画素数、4K フォトなどを設定できます。
［動画］ (P.73)	記録方式や画質などが設定できます。
［カスタム］ (P.74 ～)	画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。また、変更した設定内容を登録しておくことができます。
［セットアップ］ (P.75 ～)	時計設定や電子音音量の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。Wi-Fi 機能に関する設定もできます。
［再生］ (P.76)	画像の保護、切り抜き、プリント設定など、撮影した画像に対して設定ができます。

2 **▲▼でメニュー項目を選び、［MENU/SET］ボタンを押す**

3 **▲▼で設定内容を選び、［MENU/SET］ボタンを押す**

4 **撮影 / 再生画面に戻るまで、繰り返し［Q.MENU 🗑/↩］ボタンを押す**
- 撮影時は、シャッターボタンを半押ししてもメニュー画面を終了できます。

■メニューの種類を切り換えるとき

①◀を押す
②▲▼で［🔧］などのメニュー切り換えアイコンを選ぶ
- サイドダイヤルを回しても操作できます。

③［MENU/SET］ボタンを押す
- 続けてメニュー項目を選んで設定してください。

よく使うメニューをすぐに呼び出す（クイックメニュー）

一部のメニュー項目を簡単に呼び出して設定できます。

1 ［Q.MENU 🗑/↩］ボタンを押す
2 サイドダイヤルまたはズームレバーを回してメニュー項目を選ぶ
3 後ダイヤルを回して設定内容を選ぶ
4 ［Q.MENU 🗑/↩］ボタンを押してクイックメニューを終了する

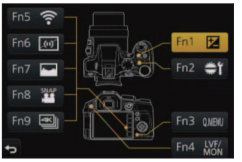
よく使う機能をボタンに割り当てる（ファンクションボタン）

特定のボタン（［Fn1］～［Fn4］）または画面に表示されるアイコン（［Fn5］～［Fn9］）に、よく使う機能を割り当てることができます。

1 メニューを設定する（P.25）

MENU ボタン→ ƒc［カスタム］→［Fn ボタン設定］

2 ▲▼で［撮影時設定］または［再生時設定］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す
3 ▲▼で機能を割り当てたいファンクションボタンを選び、［MENU/SET］ボタンを押す
4 ▲▼で割り当てる機能を選び、［MENU/SET］ボタンを押す
• ファンクションボタンによっては、割り当てられない機能があります。



■［撮影時設定］で割り当てられる機能

［撮影］メニュー / 撮影機能
- 露出補正（P.42）：［Fn1］※
- Wi-Fi（P.58）：［Fn5］※
- Q.MENU（上記）：［Fn3］※
- LVF/モニター切換（P.19）：［Fn4］※
- AF/AE LOCK
- AF-ON
- マクロ撮影モード
- プレビュー
- ワンプッシュ AE
- タッチ AE
- 水準器表示：［Fn6］※
- フォーカスエリア選択
- カーソルボタンロック
- ダイヤル動作切換（P.21）：［Fn2］※
- フォトスタイル
- フィルター選択
- 画像横縦比
- 記録画素数
- クオリティ
- AFS/AFF
- 測光モード
- 連写速度
- 4K フォト（P.45）：［Fn9］※
- オートブラケット
- セルフタイマー
- ハイライトシャドウ
- iD レンジコントロール
- 超解像
- HDR
- シャッター方式
- フラッシュモード
- フラッシュ光量調整
- iA ズーム
- デジタルズーム
- 手ブレ補正
- ISO 感度
- ホワイトバランス
- AF モード /MF
- ドライブモード
- デフォルトに戻す

［動画］メニュー
- スナップムービー：［Fn8］※
- 動画記録方式/画質設定
- 写真撮影

［カスタム］メニュー
- サイレントモード
- ピーキング
- ヒストグラム表示：［Fn7］※
- ガイドライン表示
- ゼブラパターン表示
- モノクロライブビュー
- 記録枠表示
- ズームレバー
- サイドレバー
- タッチパネル

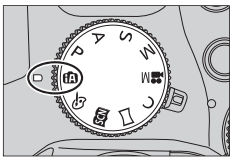
※お買い上げ時のファンクションボタン設定

カメラにおまかせで撮る（インテリジェントオートモード）

撮影モード：iA iA+

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラにおまかせで気軽に撮りたいときにお勧めです。

1 モードダイヤルを［iA］に合わせる



- インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモードのどちらか最後に使用していたモードに切り換わります。お買い上げ時は、インテリジェントオートプラスモードが設定されています。（P.28）

2 被写体にカメラを向ける

- カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが 2 秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。（自動シーン判別）

自動で働く機能について

カメラが最適な設定を行うため、以下の機能が自動で働きます。

- 自動シーン判別 / 逆光補正 / 顔・瞳認識 / オートホワイトバランス / インテリジェント ISO / デジタル赤目補正 / iA ズーム / 超解像 / 手ブレ補正 /iD レンジコントロール / 長秒ノイズ除去 / 回折補正 / クイック AF / AF 補助光 / 動画傾き補正

■自動シーン判別

写真撮影時

i 人物	i 風景	i マクロ	i 夜景 & 人物※1
i 夜景	i 手持ち夜景※2	i 料理	i 赤ちゃん※3
i 夕焼け	iA どのシーンにも当てはまらないとき		

※1 内蔵フラッシュを開いているときのみ表示
※2［i 手持ち夜景］が［ON］の場合（P.28）
※3 個人認証機能で登録した乳幼児（3 歳未満）を認識したとき

- 4K フォト撮影時は、動画撮影時と同じシーン判別になります。

動画撮影時

i 人物	i 風景	i ローライト	i マクロ
iA どのシーンにも当てはまらないとき			

■フラッシュ

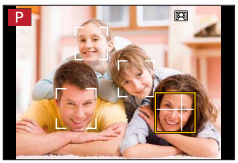
フラッシュを閉じているときは［⚡］（発光禁止）になります。
フラッシュを開いているときは、被写体の種類や明るさに合わせて、カメラが自動で［iA］、［i赤目］（赤目軽減オート）、［i赤目］または［iS］に設定します。

● **フラッシュを使うときは、フラッシュを開いてください。（P.49）**

■オートフォーカス（顔・瞳認識）

オートフォーカスモードは自動で［］に設定されます。被写体をタッチすると［］に切り換わり、追尾 AF 機能が働きます。
カーソルボタンの ◀ またはサイドボタン※を押しても、［］に切り換わります。被写体を追尾 AF エリアに合わせ、シャッターボタンを半押しすると追尾 AF 機能が働きます。

※［カスタム］メニューの［サイドボタン設定］（P.22）を［AF/FOCUS］に設定時



- ［］、［］、［］のとき、ピントは本機に近い側の目に、露出は顔に合わせます。インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモード時は、ピントを合わせる目を変えることはできません。**（顔・瞳認識）**
- 追尾 AF 時は、被写体をロックするまで自動シーン判別は働きません。

インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードを切り換える

1 **［MENU/SET］ボタンを押す**

2 **◀ を押す**

3 **▲▼で［］または［］タブを選ぶ**

- サイドダイヤルを回しても操作できます。

4 **▶ で［］または［］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す**

- ［DISP.］ボタンを押すと、選択されているモードの説明が表示されます。

手持ちで夜景を撮る（i 手持ち夜景）

撮影モード：

［i 手持ち夜景］は手持ち撮影時に夜景を自動判別した場合、複数枚撮影した写真を合成して、三脚を使わずに手ブレとノイズの少ない写真を記録できる機能です。

MENU ボタン→ ［撮影］→［i 手持ち夜景］→［ON］/［OFF］

階調豊かな写真に合成する（iHDR）

撮影モード：

［iHDR］は背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して 1 枚の階調豊かな写真に合成する機能です。
［iHDR］は必要に応じて働きます。働くときは、画面に［HDR］が表示されます。

MENU ボタン→ ［撮影］→［iHDR］→［ON］/［OFF］

背景をぼかして撮る（ボケ味コントロール）

撮影モード： iA iA+

背景のボケ具合を画面で確認しながら簡単に設定することができます。

1 **［Fn2］ボタンを押して設定画面を表示する**

2 **後ダイヤルを回してボケ具合を設定する**

- ［MENU/SET］ボタンを押すと撮影画面に戻ります。
- ボケ具合の設定画面で［Fn2］ボタンを押すと、設定が解除されます。

明るさ（露出）や色合いを変えて撮る

撮影モード： iA+

カメラが設定した明るさ（露出）や色合いを、お好みに調整できます。

明るさ（露出）を設定する

1 **［⊠］ボタンを押す**

2 **後ダイヤルを回して明るさ（露出）を調整する**

- もう一度［⊠］ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

色合いを設定する

1 **▶ を押して設定画面を表示する**

2 **後ダイヤルを回して色合いを調整する**

- 画像の色合いを赤っぽい色から青っぽい色まで調整します。
- ［MENU/SET］ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

絞り値とシャッタースピードを自動で設定して撮る
（プログラム AE モード）

撮影モード：P

被写体の明るさに応じて、絞り値とシャッタースピードをカメラが自動的に設定します。

- シャッタースピードが遅いとき、カメラが自動的にノイズを取り除くため、「長秒ノイズ除去中」と表示される場合があります。ノイズ除去には、信号処理のためシャッタースピードと同じ時間を要しますが、きれいな画像を撮影することができます。

1 モードダイヤルを［P］に合わせる

2 シャッターボタンを半押しする

- 適正な露出でない場合は、絞り値とシャッタースピードが赤色点滅します。

3 数値が表示されている間（約 10 秒間）に、後ダイヤルを回してプログラムシフトする

- プログラムシフトを解除するには、電源スイッチを［OFF］にするか、プログラムシフト表示が消えるまで後ダイヤルを回してください。

プログラムシフトについて

同じ露出（明るさ）になるように、シャッタースピードと絞り値の組み合わせを変更する機能を「プログラムシフト」といいます。プログラムシフトを使うと、プログラム AE モードでもシャッタースピードや絞り値を調整して撮影できます。

絞り値 / シャッタースピードを決めて撮る

撮影モード：ASM

- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、［プレビューモード］をお使いください。（P.32）
- 後ダイヤルを回すと、露出メーターが表示されます。適正な露出でない場合は、赤色で表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたとき、適正露出にならない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。
- シャッタースピードが遅いとき、カメラが自動的にノイズを取り除くため、「長秒ノイズ除去中」と表示される場合があります。ノイズ除去には、信号処理のためシャッタースピードと同じ時間を要しますが、きれいな画像を撮影することができます。

絞り値を決めて撮る（絞り優先 AE モード）

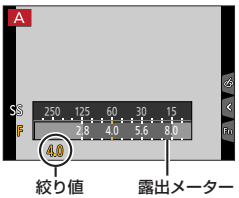
絞り値を大きくすると、ピントが合う奥行きが広がり、手前から背景までくっきりと写ります。
絞り値を小さくすると、ピントが合う奥行きが狭くなり、背景をぼかしたりできます。

1 モードダイヤルを［A］に合わせる

2 後ダイヤルを回して絞り値を設定する

設定可能な絞り値※	設定されるシャッタースピード（秒）
F2.8 ～ F8.0	60 ～ 1/4000（メカシャッター使用時） 1 ～ 1/16000（電子シャッター使用時）

※コンバージョンレンズ（別売）使用時は、選べない絞り値があります。



シャッタースピードを決めて撮る（シャッター優先 AE モード）

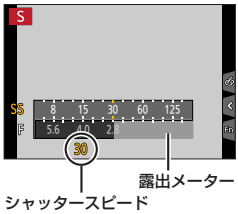
シャッタースピードを速くすると、被写体のブレを抑えて撮影できます。シャッタースピードを遅くすると、被写体の動きを表現できます。

1 モードダイヤルを［S］に合わせる

2 後ダイヤルを回して、シャッタースピードを設定する

設定可能なシャッタースピード（秒）	設定される絞り値
60※～ 1/4000（メカシャッター使用時） 1 ～ 1/16000（電子シャッター使用時）	F2.8 ～ F8.0

※ISO 感度の設定により変わります。



絞り値とシャッタースピードを決めて撮る（マニュアル露出モード）

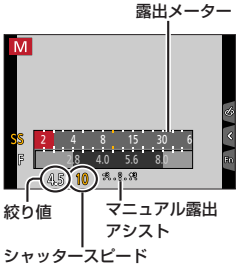
絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。
露出の状態の目安を示すマニュアル露出アシストが、画面下部に表示されます。

1 モードダイヤルを［M］に合わせる

2 後ダイヤルを回してシャッタースピードと絞り値を設定する

- ［ ］ボタン /［Fn1］ボタンを押すごとに、シャッタースピード設定操作と絞り値設定操作が切り換わります。（P.21）

設定可能な絞り値※1	設定可能なシャッタースピード※2（秒）
F2.8 ～ F8.0	B（バルブ）、 60※3 ～ 1/4000（メカシャッター使用時） 1 ～ 1/16000（電子シャッター使用時）



※1 コンバージョンレンズ（別売）使用時は、選べない絞り値があります。
※2 絞り値によっては選べない値があります。
※3 ISO 感度の設定により変わります。

シャッタースピードと絞り値に ISO 感度を合わせる

ISO 感度を［AUTO］に設定時、設定したシャッタースピードと絞り値で適正露出になるように、ISO 感度をカメラが自動的に設定します。

- 撮影条件により、適正露出にならなかったり、ISO 感度が高くなる場合があります。

マニュアル露出アシスト（目安）

-3 0 +3	標準的な明るさ（適正露出）に写ります。
-3 0 +3	明るく写ります。適正露出にするには、シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくします。
-3 0 +3	暗く写ります。適正露出にするには、シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくします。

B（バルブ）について

シャッタースピードを B（バルブ）に設定し、シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開いた状態になります。（最大約 60 秒間）
シャッターボタンを離すと、シャッターが閉じます。花火や夜景撮影などで、長時間シャッターを開けておきたいときに使います。

- シャッタースピードを B（バルブ）に設定すると、画面に［B］が表示されます。
- マニュアル露出アシストは表示されません。
- 電子シャッター使用時は使えません。
- マニュアル露出モードでのみ使えます。
- バルブ撮影時は、手ブレ防止のために、三脚またはシャッターリモコン（別売：DMW-RSL1）の使用をお勧めします。シャッターリモコンについては、「取扱説明書 活用ガイド」（PDF 形式）をお読みください。

撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果を確認する / しない

MENU ボタン→ C［カスタム］→［常時プレビュー（M モード）］→［ON］/［OFF］

- フラッシュ使用時は働きません。フラッシュを閉じてください。
- マニュアル露出モードでのみ使えます。

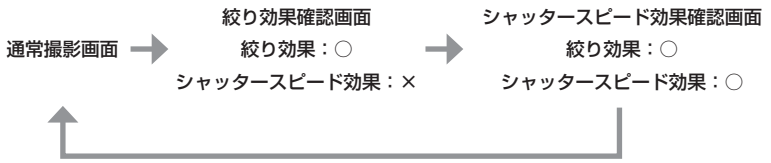
絞り効果 / シャッタースピード効果を確認する（プレビューモード）

撮影モード：iA iA+ P A S M HDR C 動画 SCN

プレビューモードを使うと、絞り効果とシャッタースピード効果の確認ができます。

1 ファンクションボタンに［プレビュー］を設定する（P.26）
- 次の手順は、［Fn3］ボタンに［プレビュー］を設定した場合の例です。

2 ［Fn3］ボタンを押して効果確認画面を切り換える
- ［Fn3］ボタンを押すごとに画面が切り換わります。



パノラマ写真を撮る（パノラマモード）

撮影モード：

カメラを動かしている間に連続撮影し、画像を合成することでパノラマ画像を撮影できます。

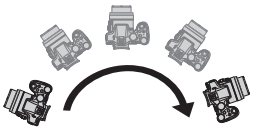
1 モードダイヤルを［］に合わせる

- 撮影方向を確認する画面が表示されたあと、水平 / 垂直ガイドが表示されます。

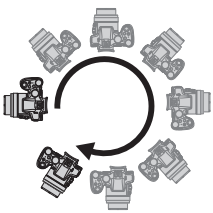
2 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる

3 シャッターボタンを全押しして、撮影方向へ小さな円を描くようにカメラを動かして撮影する

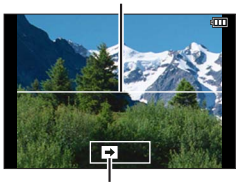
左から右に撮影する場合



画像サイズ：標準の場合



画像サイズ：ワイドの場合



- 一定の速さでカメラを動かしてください。
- 速すぎても遅すぎても、うまく撮影できない場合があります。

4 もう一度、シャッターボタンを全押しして撮影を終了する

- 撮影中に途中でカメラの動きを止めても、撮影を終了できます。
- ガイドの終わりまでカメラを動かしても撮影を終了できます。

■パノラマ写真の撮影方向や画角（画像サイズ）を変更する

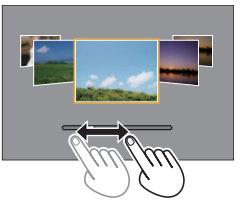
MENU ボタン→ ［撮影］→［パノラマ設定］

撮影方向	撮影する向きを設定します。
画像サイズ	画角（画像サイズ）を設定します。 **［標準］**：画質を優先した設定です。 **［ワイド］**：画角を優先した設定です。 • 同じ画角を撮影した場合、［標準］で撮影すると記録画素数が大きくなります。

撮影シーンに合わせて撮る（シーンガイドモード）

撮影モード：SCN

作例写真を見ながら、被写体や撮影状況に合わせてシーンを選択すると、カメラが最適な露出や色調、ピントの合わせ方などを設定し、シーンに合った撮影ができます。



1 モードダイヤルを［SCN］に合わせる

2 ◀▶ でシーンを選び、［MENU/SET］ボタンを押す

- 作例写真やスライドバーをドラッグすることでも、シーンを選ぶことができます。

■シーンを選ぶ画面の表示を切り換えるには

［DISP.］ボタンを押して切り換える

- ガイド表示では、各シーンの詳しい説明や撮影のヒントが表示されます。

画像効果を変えて撮る（クリエイティブコントロールモード）

撮影モード：

画像に効果を加えて撮影することができます。画像に加える効果は作例写真から選ぶことができ、画面で確認しながら設定できます。

1 モードダイヤルを［］に合わせる

2 ▲▼ で画像効果（フィルター）を選ぶ

- 選んだ作例写真の画像効果が、プレビュー表示に反映されます。
- 作例写真をタッチして選ぶこともできます。

3 ［MENU/SET］ボタンを押す

■画像効果（フィルター）を選ぶ画面の表示を切り換えるには

［DISP.］ボタンを押して切り換える

- ガイド表示では、各画像効果の説明が表示されます。

絞り / シャッタースピードを決めて動画を撮る
（クリエイティブ動画モード）

撮影モード：M

絞りやシャッタースピードを手動で変更して動画を撮影できます。

1 モードダイヤルを［M］に合わせる

2 メニューを設定する（P.25）

MENU ボタン→［動画］→［動画露出設定］

3 ▲▼で［P］、［A］、［S］、［M］のいずれかを選び、［MENU/SET］ボタンを押す

- モードダイヤルを［P］/［A］/［S］/［M］のいずれかに合わせたときと同じ操作で、絞り値やシャッタースピードを変更できます。

4 動画ボタン（またはシャッターボタン）を押して撮影を開始する

- 写真撮影はできません。

5 動画ボタン（またはシャッターボタン）を押して撮影を終了する

動画撮影中の操作音を抑えて撮る

動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。タッチ操作をすることで、動画撮影中でも静かに操作できます。

1 メニューを設定する（P.25）

MENU ボタン→［動画］→［タッチ静音操作］→［ON］

2 撮影を開始する

3 [ ] をタッチする

4 アイコンをタッチする

- [ ]：ズーム
- [SS]：シャッタースピード
- [ISO]：ISO 感度
- [F]：絞り値
- [ ]：露出補正
- [ ]：マイクレベル設定

5 スライドバーをドラッグして設定する

- タッチする位置により、操作のスピードは変わります。

［▼］/［▲］	ゆっくり設定を変える
［▼▼］/［▲▲］	速く設定を変える

6 撮影を終了する

お好みの設定を登録して撮る（カスタムモード）

撮影モード：C

現在のカメラの設定内容をカスタムセットとして登録しておくことができます。カスタムモードで撮影すると、登録したときと同じ設定で撮影することができます。
• お買い上げ時、カスタムセットにはプログラム AE モードの初期設定が登録されています。

お好みのメニュー設定を登録する（カスタムセット登録）

同じ設定で撮影できるように、現在のカメラの設定内容を［カスタムセット登録］で 3 つまで登録しておくことができます。（［C1］、［C2］、［C3］）

準備
あらかじめ保存したい状態の撮影モードに設定し、本機でメニュー設定する。

1 メニューを設定する（P.25）

MENU ボタン→ ［カスタム］→［カスタムセット登録］

2 ▲▼ で登録したいカスタムセット（C1 ～ C3）を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

• 確認画面が表示されます。［はい］を選び、［MENU/SET］ボタンを押します。

登録したカスタムセットで撮る

［カスタムセット登録］で登録した設定を、簡単に呼び出すことができます。

1 モードダイヤルを［ C ］に合わせる

• 最後に使ったカスタムセット（［C1］、［C2］または［C3］）が呼び出されます。

■カスタムセットを変更する場合は

1 モードダイヤルを［ C ］に合わせる

2 ［MENU/SET］ボタンを押して、メニューを表示する

3 ◀▶ で使いたいカスタムセットを選び、［MENU/SET］ボタンを押す

登録内容を変更する

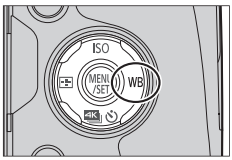
モードダイヤルを［ C ］に合わせた状態で、一時的にメニュー設定を変更しても、登録内容は変更されません。
登録内容を変更する場合は、［カスタム］メニューの［カスタムセット登録］で登録内容を上書きしてください。

ホワイトバランスを調整する

撮影モード： iA iA PASM C SCN

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

1 **［WB］ボタン（▶）を押す**



2 **サイドダイヤルまたは後ダイヤルを回してホワイトバランスを選び、［MENU/SET］ボタンを押す**

- シャッターボタンを半押ししても、ホワイトバランスを決定できます。

［AWB］	環境光に応じて、自動で色合いを調整します。
［☼］	晴天下に適した色合いに調整します。
［☁］	曇天下に適した色合いに調整します。
［⌂］	日陰に適した色合いに調整します。
［💡］	白熱灯の照明下に適した色合いに調整します。
［WB］※	フラッシュ撮影時に適した色合いに調整します。
［1］/［2］/［3］/［4］	手動で設定した設定値を使用します。
［K］	色温度でホワイトバランスを設定できます。色温度とは、光の色を数値［単位：K（ケルビン）］で表したもので、温度が高いほど青く、低いほど赤くなります。 • ［2500K］～［10000K］まで設定できます。

※動画撮影中、4K フォト撮影時は［AWB］の動作になります。

手動でホワイトバランスを設定する

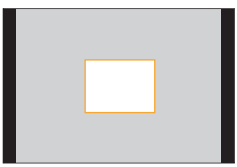
撮りたい光源の下で白いものを写して色を合わせます。

1 **［WB］ボタン（▶）を押す**

2 **サイドダイヤルを回して［1］、［2］、［3］、または［4］を選び、▲を押す**

3 **画面中央の枠内に紙など白いものを写し、シャッターボタンを押す**

- ［MENU/SET］ボタンを押すことでも、同じ操作ができます。



画質とサイズを設定する

写真の横縦比を変える

撮影モード：iA iA+ P A S M C SCN

プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。

MENU ボタン→ 📷［撮影］→［画像横縦比］

［4:3］	4:3 テレビの横縦比	［16:9］	ハイビジョンテレビなどの横縦比
［3:2］	一般のフィルムカメラの横縦比	［1:1］	正方形横縦比

● プリント時に端が切れる場合があるので、事前に確認してください。

記録画素数を設定する

撮影モード：iA iA+ P A S M C SCN

画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。

MENU ボタン→ 📷［撮影］→［記録画素数］

画像横縦比	4:3	3:2	16:9	1:1
記録画素数	［L］12M 4000 × 3000	［L］10.5M 4000 × 2672	［L］9M 4000 × 2248	［L］9M 2992 × 2992
	［EX M］8M 3264 × 2448	［EX M］7M 3264 × 2176	［EX M］8M 3840 × 2160	［EX M］6M 2448 × 2448
	［EX S］3M 2048 × 1536	［EX S］2.5M 2048 × 1360	［EX S］2M 1920 × 1080	［EX S］3.5M 1920 × 1920

画像の圧縮率を設定する（クオリティ）

撮影モード：iA iA+ P A S M C SCN

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

MENU ボタン→ 📷［撮影］→［クオリティ］

設定	ファイル形式	設定内容
［★★★］	JPEG	画質を優先して、JPEG 形式で記録します。
［★★］		標準画質で、JPEG 形式で記録します。 画素数を変えずに記録枚数を増やす場合などに便利です。
［RAW+★★★］	RAW + JPEG	RAW 形式に加え、JPEG 形式（［★★★］または［★★］）でも記録します。※1
［RAW+★★］		
［RAW］	RAW	RAW 形式で記録します。※2 ［RAW］は［RAW+★★★］または［RAW+★★］よりも小さいデータ容量で記録できます。

※1 本機で RAW 画像を消去すると、JPEG 画像も同時に消去されます。

※2 撮影時の画像横縦比にかかわらず、RAW 画像は常に画像横縦比［4:3］（4000 × 3000）で記録されます。

- ［再生］メニューの［RAW 現像］で RAW 画像を現像することができます。（P.55）
- パソコンでの RAW ファイルの現像や編集には、CD-ROM（付属）のソフトウェア（市川ソフトラボラトリー「SILKYPIX Developer Studio」）をお使いください。（P.63）

RAW について

RAW 形式とは、カメラで画像処理が行われていないそのままのデータ形式です。RAW 画像の再生・編集には本機または専用のソフトウェアを必要とします。
RAW 画像を編集することで、撮影後のホワイトバランスの修正といった高度な編集や、パソコンで表示できるファイル形式で保存ができます。JPEG 形式よりも高画質で記録できますが、データ容量が大きくなります。

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

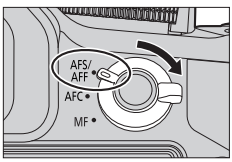
被写体や撮影状況に合わせてフォーカスモードやオートフォーカスモードを設定することで、さまざまなシーンに対応した自動でのピント合わせができます。

フォーカスモードを選ぶ（AFS、AFF、AFC）

撮影モード：iA iA+ P A S M M+ C ▭ SCN

シャッターボタン半押し時のピント合わせ動作を設定します。

1 フォーカスモードレバーを［AFS/AFF］または［AFC］に合わせる



設定	被写体の動き、撮影シーン（お勧め）	設定内容
AFS/AFF	静止している（風景、記念撮影など）	AFS とは「Auto Focus Single」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。半押ししている間、ピントは固定されます。
	動きが予測できない（子ども、ペットなど）	AFF とは「Auto Focus Flexible」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。半押ししている間に被写体が動いた場合、動きに合わせて自動でピントを合わせ直します。
AFC	動いている（スポーツ、鉄道など）	AFC とは「Auto Focus Continuous」の略で、シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にピント合わせを行います。動いている被写体の場合は、撮影時に予測してピント合わせを行います。（動体予測）
MF	—	手動でピントを合わせます。（P.41）

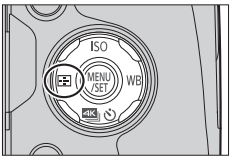
■フォーカスモードレバーの［AFS/AFF］について

［撮影］メニューまたは［動画］メニューの［AFS/AFF］で、フォーカスモードレバーの［AFS/AFF］に、［AFS］または［AFF］のいずれかを割り当てることができます。（P.72）

オートフォーカスモードを切り換える

撮影モード：iA iA P A S M C SCN

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。



1 ［▦］ボタン（◀）を押す

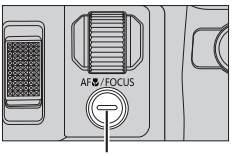
2 ◀▶ でオートフォーカスモードを選び、［MENU/SET］ボタンを押す

（顔・瞳認識）	人の顔と目を自動的に検知します。 ピントは本機に近い側の目に、露出は顔に合わせます。（［測光モード］を［◎］（マルチ測光）に設定時）
（追尾）	指定した被写体にピントを合わせることができます。 ロックした被写体に合わせて露出も調整します。（［測光モード］を［◎］（マルチ測光）に設定時）
（49 点）	撮影画面の広範囲（最大 49 点）の中の被写体にピントを合わせます。
など（カスタムマルチ）	被写体に合わせて、49 点の AF エリアから選ぶことで自由に形状を設定できます。
（1 点）	画面中央の AF エリアにピントが合います。（ピントが合いにくいときにお勧め）
（ピンポイント）	［■］（1 点）より小さな点で繊細なピント合わせができます。

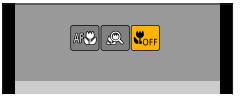
近づいて撮る（マクロ撮影）

撮影モード：iA iA P A S M C SCN

花などの被写体に近づいて撮りたいときに設定します。



サイドボタン



1 フォーカスモードレバーを［AFS/AFF］または［AFC］に合わせる（P.39）

2 サイドボタンを押す

- マクロ撮影モードを選択できない場合、［カスタム］メニューの［サイドボタン設定］を［AF/FOCUS］に設定後、サイドボタンを押してください。（P.22）

3 ◀▶ でモードを選び、［MENU/SET］ボタンを押す

［AF］（AF マクロ）	ズームをもっとも広角（W 端）にすると、レンズから 1 cm まで接近して撮影できます。
［］※（ズームマクロ）	被写体に近づいて、さらに拡大して撮りたいときに合わせてください。 W 端の距離（1 cm）のまま、最大 3 倍までデジタルズームして撮影します。 • 通常撮影時よりも画質が劣化します。 • ズーム領域表示は青色（デジタルズーム領域）になります。
［OFF］（OFF）	—

※撮影モードや設定によっては選べません。

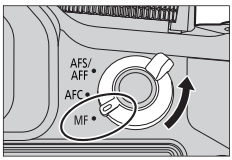
● レンズに指紋やほこりなどの汚れがついていると、レンズにピントが合ってしまい、被写体にピントが合わない場合がありますので、お気をつけください。

手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

撮影モード：iA iA+ P A S M C SCN

ピントを固定して撮影したいときや、オートフォーカスでピントが合いにくい環境では、マニュアルフォーカスが便利です。

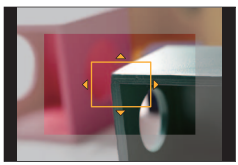
1 フォーカスモードレバーを［MF］に合わせる



2 ［▦］ボタン（◀）を押す（P.40）

3 ▲▼◀▶でピントを合わせる位置を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

- アシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。（MF アシスト）
- ［DISP.］ボタンを押すと、拡大表示する部分は中央に戻ります。

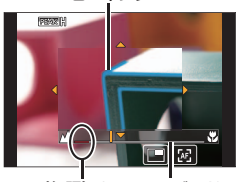


MF アシスト（拡大画面）

4 サイドダイヤルを回してピントを調整する（P.20）

- ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。（ピーキング）
- 近距離側、遠距離側へピントを合わせる方向を確認できます。（MF ガイド）

ピーキング



∞（無限）を示す目安　MF ガイド

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動
—	ピンチアウト / ピンチイン	画面を細かく拡大 / 縮小
	—	画面を大きく拡大 / 縮小
—		拡大表示の切り換え（画面の一部 / 画面全体）
［DISP.］	［リセット］	拡大表示する部分を中央に戻す

5 シャッターボタンを半押しする

- アシスト画面が終了し、撮影画面が表示されます。
- ［MENU/SET］ボタンを押すことでも、アシスト画面を終了できます。

ピントや露出を固定して撮る（AF/AE ロック）

撮影モード：iA iA PASM 動画 C ▭ SCN

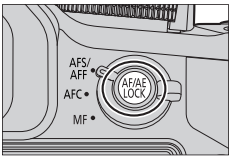
被写体のコントラストが強すぎて適正露出が得られない場合（AE ロック）や、被写体が AF エリアから外れた構図で撮りたい場合（AF ロック）などに便利です。

- マニュアル露出モード時は AF ロックのみ有効です。
- マニュアルフォーカス時は AE ロックのみ有効です。

1 **被写体にカメラを向ける**

2 **［AF/AE LOCK］ボタンを押したままにし、ピントや露出を固定する**

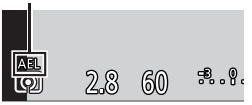
- ［AF/AE LOCK］ボタンを離すと、ロックは解除されます。
- お買い上げ時は、露出のみが固定されます。



3 **［AF/AE LOCK］ボタンを押したまま、撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする**

- ［AE LOCK］設定時は、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、全押ししてください。

AEL：
露出を固定中（AE ロック）



［AF/AE LOCK］ボタンの機能を設定する

MENU ボタン→ ［カスタム］→［AF/AE ロック切換］

［AE LOCK］	露出だけを固定します。	［AF/AE LOCK］	ピントと露出を固定します。
［AF LOCK］	ピントだけを固定します。	［AF-ON］	オートフォーカスが働きます。

露出を補正して撮る

撮影モード：iA iA PASM 動画 C ▭ SCN

逆光時や、暗すぎる / 明るすぎる場合に露出を補正します。

1 **［±］ボタンを押す**

2 **後ダイヤルを回して露出を補正する**

- ［DISP.］ボタンを押すと、後ダイヤルとサイドダイヤルの動作を入れ替えることができます。
- 露出補正値は－ 3EV ～+ 3EV の範囲で設定可能です。

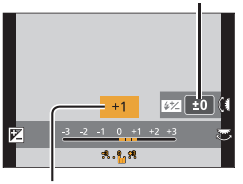
3 **サイドダイヤルを回してフラッシュ発光量を調整する**

- ［フラッシュ設定］（P.72）の［発光モード］を［TTL］に設定時のみ操作できます。

4 **［±］ボタンを押して決定する**

- シャッターボタン半押しでも決定できます。

フラッシュ光量調整



露出補正

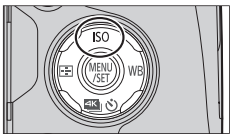
ISO 感度を設定する

撮影モード：iA iA P A S M C

ISO 感度（光に対する感度）を設定します。暗い場所で明るく撮りたいときは、高く設定することをお勧めします。

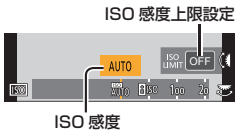
1 ［ISO］ボタン（▲）を押す

2 後ダイヤルを回して ISO 感度を選ぶ
- ［DISP.］ボタンを押すと、後ダイヤルとサイドダイヤルの動作を入れ替えることができます。



3 サイドダイヤルを回して ISO 感度の上限を設定する
- ISO 感度が［AUTO］または［iISO］時に働きます。

4 ［MENU/SET］ボタンを押す
- シャッターボタン半押しでも決定できます。



AUTO	被写体の明るさに応じて、最大 3200（フラッシュ使用時：1600）※までの範囲で自動設定します。
iISO（インテリジェント ISO）	被写体の動きと明るさに応じて、最大 3200（フラッシュ使用時：1600）※までの範囲で自動設定します。
100/200/400/800/1600/3200/6400	それぞれの ISO 感度に固定します。

※［撮影］メニューの［ISO 感度上限設定］（P.72）を［OFF］以外に設定しているときは、［ISO 感度上限設定］の設定値までの範囲で自動的に設定します。

シャッター方式を設定する

撮影モード：iA iA P A S M C

メカシャッター方式と電子シャッター方式の 2 種類のシャッター方式で撮影できます。

	メカシャッター方式	電子シャッター方式
フラッシュ	○	×
シャッタースピード	B（バルブ）※1、60 秒※2 ～ 1/4000 秒※3	1 秒～ 1/16000 秒
シャッター音	メカシャッター音＋電子シャッター音	電子シャッター音

※1 マニュアル露出モード時のみ設定できます。(P.31)
※2 ISO 感度の設定により変わります。
※3 絞り値によっては選べない値があります。

1 メニューを設定する（P.25）

MENU ボタン→ 📷［撮影］→［シャッター方式］

AUTO	撮影状況やシャッタースピードに応じて、シャッター方式が自動で切り換わります。
メカシャッター	メカシャッター方式のみで撮影します。
電子シャッター	電子シャッター方式のみで撮影します。

ドライブモードを選ぶ

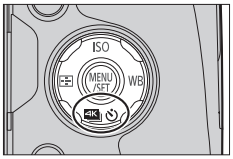
撮影モード：iA iA PASM C SCN

シャッターボタンを押したときの動作を切り換えることができます。

1 **［4K ⏲］ボタン（▼）を押す**

2 **◀▶ でドライブモードを選び、［MENU/SET］ボタンを押す**

• 表中のアイコンは一例です。



□ 単写	シャッターボタンを押すと 1 枚だけ撮影します。
□H 連写	シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
4K 4K フォト（P.45）	シャッターボタンを押すと 4K フォトを撮影します。
3•1/3 オートブラケット※（P.47）	シャッターボタンを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら撮影します。
⏲10 セルフタイマー（P.47）	シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。

※インテリジェントオートモードでは設定できません。

連写する

撮影モード：iA iA PASM C SCN

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

• 連写速度を［SH］で撮影した画像は、ひとつの連写グループとして記録されます。

1 **［4K ⏲］ボタン（▼）を押す**

2 **◀▶ で連写アイコン（［□H］など）を選び、▲ を押す**

3 **◀▶ で連写速度を選び、［MENU/SET］ボタンを押す**

		［SH］（超高速）※	［H］（高速）	［M］（中速）	［L］（低速）
連写速度	AFS	60 コマ / 秒	12 コマ / 秒	6 コマ / 秒	2 コマ / 秒
	AFF/AFC	—	6 コマ / 秒	6 コマ / 秒	2 コマ / 秒
連写中のライブビュー		なし	なし	あり	あり

※電子シャッターが働き、記録画素数は［S］に固定されます。

4 **ピントを合わせて撮影する**

• シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。

■連写を解除するとき

手順 **2** で［□］（単写）または［⏲OFF］を選ぶ。

4K フォトを撮る

撮影モード：iA iA P A S M C SCN

4K フォトの撮影を行い、30 コマ / 秒の連写から一瞬を選び出し、約 800 万画素の写真を保存することができます。

4K フォトを撮る → 写真を選び保存する → 写真の完成

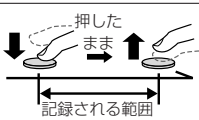
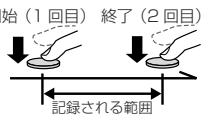
- 撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。(P.15)
- 4K フォト撮影時、画角が狭くなります。

1 **［4K ひ］ボタン（▼）を押す（P.44）**

2 **◀▶ で 4K フォトアイコン（［4K］など）を選び、▲ を押す**

3 **◀▶ で撮影方法を選び、［MENU/SET］ボタンを押す**

- 4K フォトの撮影に最適な設定になります。お買い上げ時、撮影方法は［4K］（4K 連写）に設定されています。

4K **4K 連写**	**動きの速い被写体のベストな一瞬を捉えたいとき** シャッターボタンを押している間、連写撮影します。撮影中は、シャッター音が連続で鳴ります。 • シャッターボタン全押しから約 0.5 秒後に撮影が開始されますので、早めに全押ししてください。	
4K S/S **4K 連写（S/S）** S/S とは「Start/Stop」の略を表します。	**いつ起こるか分からないシャッターチャンスを捉えたいとき** シャッターボタンを押すと連写撮影を開始します。もう一度押すと、連写撮影を終了します。開始音、終了音が鳴ります。	
4K PRE **4K プリ連写**	**シャッターチャンスの瞬間に合わせて撮りたいとき** シャッターボタンを押した瞬間の前後約 1 秒を連写撮影します。シャッター音が 1 回だけ鳴ります。 • ドライブモードを 4K フォトにし、［4K フォト］を［4K PRE］（4K プリ連写）に設定しているときは、バッテリーの消耗が早くなり、本機の温度も上昇します。**撮影するときだけ［4K PRE］（4K プリ連写）に設定してください。**	

4 **シャッターボタンを押して撮影する**

（4K 連写）	① シャッターボタンを**半押しする** ② 撮影したい間、シャッターボタンを**全押ししたままにする**
（4K 連写（S/S））	① シャッターボタンを全押しする ② **もう一度**、シャッターボタンを全押しする
（4K プリ連写）	① シャッターボタンを**全押し**する

- 4K フォトの連写撮影を行い、4K 連写ファイルが保存されます。
  4K 連写ファイルは、MP4 形式の動画で保存されます。
- オートレビューを設定している場合、写真を選ぶ画面が自動で表示されます。

撮る

4K 連写ファイルから写真を選び保存する

1 再生画面で 4K 連写ファイルを選び、▲ を押す

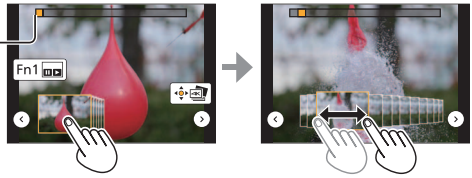
- 4K 連写ファイルには［ ］が表示されます。
- 写真を選ぶスライドビュー画面が表示されます。

2 タッチしてからドラッグし、写真として保存するコマを選ぶ

連写時間が長い 4K 連写ファイルから選ぶ場合は、4K 連写再生画面でおおまかにシーンを選んでから、スライドビュー画面で写真として保存したいコマを選ぶことをお勧めします。

＜スライドビュー画面＞

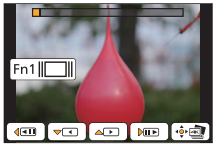
表示中のコマの位置
タッチするとタッチした位置のコマを表示します



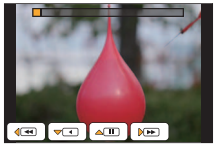
ボタン操作	タッチ操作	操作内容
◀▶	タッチ→ドラッグ	コマの選択
◀▶ で ⟨⟩ を選択→ [MENU/SET]	⟨⟩	前または後のコマ（45 枚）をスライドビューで表示 • 続けて押すと、さらに前または後を表示します。
[Fn1]		4K 連写再生画面を表示
[MENU/SET]		写真の保存

＜ 4K 連写再生画面＞

一時停止中



連続再生中



ボタン操作		タッチ操作	操作内容
▲		▶ / ❚❚	連続再生 / 一時停止（連続再生中）
▼		◀ / ❚❚	連続戻し再生 / 一時停止（連続戻し再生中）
	▶	▶▶ / ❚❚▶	早送り再生 / コマ送り（一時停止中）
	◀	◀◀ / ◀❚❚	早戻し再生 / コマ戻し（一時停止中）
[Fn1]			スライドビュー画面を表示（一時停止中）
[MENU/SET]			写真の保存（一時停止中）

3 ［MENU/SET］ボタンを押し、写真を保存する
- 4K 連写再生画面では、一時停止中に操作してください。
- 確認画面が表示されます。［はい］を選ぶと実行されます。**写真は JPEG 形式で保存されます。**

- **さらに詳しい説明は、「取扱説明書 活用ガイド」（PDF 形式）や「4K PHOTO かんたんガイド」（別紙）をお読みください。**

露出を自動的に変えながら撮る（オートブラケット）

撮影モード： iA iA P A S M C SCN

シャッターボタンを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら最大で 7 枚まで撮影します。

1 ［4K ⏲］ボタン（▼）を押す（P.44）

2 ◀▶ でオートブラケットアイコン（［3･1/3］など）を選び、▲ を押す

3 ◀▶ で補正幅を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

4 ピントを合わせて撮影する
- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。
- 設定枚数分がすべて撮影されるまでオートブラケット表示が点滅します。

セルフタイマーで撮る

撮影モード： iA iA P A S M C SCN

三脚の使用をお勧めします。セルフタイマーを 2 秒に設定すると、シャッターボタンを押したときのカメラのブレを防ぐのにも効果的です。

1 ［4K ⏲］ボタン（▼）を押す（P.44）

2 ◀▶ でセルフタイマーアイコン（［⏲10］など）を選び、▲ を押す

3 ◀▶ でセルフタイマーの動作設定を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

⏲10	10 秒後に撮影します。
⏲10	10 秒後に約 2 秒間隔で 3 枚撮影します。
⏲2	2 秒後に撮影します。

4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する
- フォーカスと露出はシャッターボタン半押し時に固定されます。
- セルフタイマーランプが点滅後、撮影動作が開始されます。

手ブレを補正する

撮影モード：iA iA+ P A S M 動画 C カスタム SCN 特殊効果

本機では、手ブレを自動で感知して補正します。動画撮影時は、レンズで補正する光学式とセンサーで補正する電子式を組み合わせた 5 軸ハイブリッド手ブレ補正が使えます。

1 メニューを設定する（P.25）

MENU ボタン→ 📷［撮影］→［手ブレ補正］

2 ▲▼ で項目を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

動作設定	**（通常）**	上下左右の動きに対する手ブレを補正します。
	（流し撮り）	上下の動きに対する手ブレを補正します。流し撮り（一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて、本機を動かしながら撮影する方法）するときに適しています。 ファインダー撮影をお勧めします。
	OFF	手ブレ補正は働きません。
電子補正（動画）	動画撮影時の上下方向、左右方向、回転軸、縦回転、水平回転の 5 つのブレを補正します。（5 軸ハイブリッド手ブレ補正） **［ON］/［OFF］** • ［ON］設定時、動画撮影中、［］が画面表示されます。 ただし、クリエイティブ動画モードでは、［］が常に画面表示されます。 • 撮影した動画の画角が狭くなる場合があります。	

ズームの種類と用途

光学ズーム※1	画質を劣化させずに拡大します。 **最大倍率：24 倍**
EX 光学ズーム※1	［EX］付きの記録画素数（P.38）を選ぶと働きます。画質を劣化させずに光学ズームより拡大します。 **最大倍率：46.9 倍（光学ズームの倍率を含みます。また記録画素数により変わります。）**
iA ズーム※1	超解像技術によって、画質の劣化を抑えつつ、元のズーム倍率の 2 倍までズーム倍率を上げることができます。 ● ［撮影］メニューまたは［動画］メニューの［iA ズーム］で、［ON］/［OFF］を切り換えできます。（インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモードでは、［ON］に固定されます。）
デジタルズーム※1、※2	最大ズーム倍率がさらに 4 倍になります。ただし、ズームするほど画質は粗くなります。 ● ［撮影］メニューまたは［動画］メニューの［デジタルズーム］で、［ON］/［OFF］を切り換えできます。 ● iA ズームを併用しているときは、デジタルズームの倍率が 2 倍までに制限されます。

※1 パノラマモードでは使えません。
※2 インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモードでは使えません。

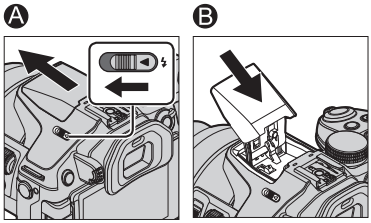
フラッシュを使って撮る

撮影モード：iA iA P A S M C SCN

■内蔵フラッシュを開く / 閉じる

Ⓐ 開くとき
フラッシュオープンレバーをスライドさせる
Ⓑ 閉じるとき
フラッシュを「カチッ」と音がするまで押す

- 無理に閉じようとすると故障の原因になります。
- 使わないときは、内蔵フラッシュは必ず閉じておいてください。



- **フラッシュを開くときに、フラッシュが飛び出しますので、お気をつけください。**
- **フラッシュを閉じるときに、指などを挟まないようにお気をつけください。**
- 次の場合、発光禁止（[ ]）に固定されます
  - フラッシュを閉じているとき
  - 動画撮影時
  - 4K フォト撮影時
  - 電子シャッター使用時
  - [HDR] を [ON] に設定時
  - [サイレントモード] を [ON] に設定時
  - [フィルター設定] の [フィルター選択] で画像効果設定時
  - [コンバージョン] を [ ] または [ ] に設定時

フラッシュモードを切り換える

撮影モード：iA iA P A S M C SCN

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光のしかたを設定します。

1 メニューを設定する（P.25）

MENU ボタン→ [撮影] →［フラッシュ設定］→［フラッシュモード］

2 ▲▼ で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

：強制発光 ：赤目軽減強制発光	フラッシュを強制的に発光させます。 • **逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。**
：スローシンクロ ：赤目軽減スローシンクロ	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。 • **夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。** • **シャッタースピードを遅くすると画像がブレることがあります。三脚の使用をお勧めします。**
：発光禁止	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 • **フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。** • 外部フラッシュ（別売）使用時のみ設定できます。

操作音と発光の禁止を一括で設定する（サイレントモード）

撮影モード：iA iA+ P A S M 動画 C カスタム SCN 静止画

静かな環境や公共の施設などで撮影するときや、赤ちゃんや動物などの被写体を撮影するときに使うと便利です。

1 メニューを設定する（P.25）

MENU ボタン→ fC［カスタム］→［サイレントモード］→［ON］/［OFF］

- 操作音は消音に、フラッシュや AF 補助光は発光禁止に設定されます。
  次の機能は固定されます。
  - –［シャッター方式］：［電子シャッター］
  - –［電子音音量］：［🔇］（OFF）
  - –［フラッシュモード］：［⚡］（発光禁止）
  - –［シャッター音音量］：［🔇］（OFF）
  - –［AF 補助光］：［OFF］
- ［ON］に設定していても、次の機能は点灯 / 点滅します。
  - – 電源表示ランプ
  - – セルフタイマーランプ
  - – Wi-Fi 接続ランプ

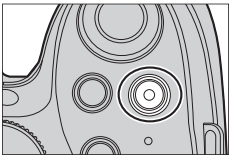
● レンズの絞りの音など、本機の動作音は消音されません。
● **本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。**

動画を撮る

撮影モード：iA iA+ P A S M 動画 C カスタム SCN 静止画

AVCHD 規格に準拠したフルハイビジョン映像や、MP4 で記録される動画を撮影できます。MP4 では 4K 動画（P.51）も撮影できます。音声はステレオで記録されます。

1 動画ボタンを押して、撮影を開始する



- 各動画モードに適した動画が撮影できます。
- 動画ボタンは押したあと、すぐに離してください。
- 動画の記録中は、記録動作表示（赤）が点滅します。
- 画面上の情報が一部消えた場合は、［DISP.］ボタンを押す、またはモニターをタッチすると再度表示されます。
- シャッターボタンを全押しすると、動画撮影中に写真を撮ることができます。

2 もう一度動画ボタンを押して、終了する

● 周囲の温度が高かったり連続で動画撮影を行った場合は、機器保護のため、［⚠］が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
● **静かな環境下での撮影では、絞りやフォーカスなどの動作音が動画に録音されることがあります。これは異常ではありません。**
動画撮影中のフォーカス動作は［AF 連続動作］（P.73）で［OFF］に設定することができます。

■フォーマット、サイズ、記録フレームレートを設定する

MENU ボタン→ 📹［動画］→［記録方式］

［AVCHD］	ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。
［MP4］	パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。

MENU ボタン→ 📹［動画］→［画質設定］

［AVCHD］を選んだ場合

項目	サイズ	記録フレームレート	センサー出力	ビットレート
［FHD/28M/60p］※	1920 × 1080	60p	60 コマ / 秒	約 28 Mbps
［FHD/17M/60i］	1920 × 1080	60i	60 コマ / 秒	約 17 Mbps
［FHD/24M/30p］	1920 × 1080	60i	30 コマ / 秒	約 24 Mbps
［FHD/24M/24p］	1920 × 1080	24p	24 コマ / 秒	約 24 Mbps

※AVCHD Progressive

［MP4］を選んだ場合

項目	サイズ	記録フレームレート	センサー出力	ビットレート
［4K/100M/30p］	3840 × 2160	30p	30 コマ / 秒	約 100 Mbps
［4K/100M/24p］	3840 × 2160	24p	24 コマ / 秒	約 100 Mbps
［FHD/28M/60p］	1920 × 1080	60p	60 コマ / 秒	約 28 Mbps
［FHD/20M/30p］	1920 × 1080	30p	30 コマ / 秒	約 20 Mbps
［HD/10M/30p］	1280 × 720	30p	30 コマ / 秒	約 10 Mbps
［VGA/4M/30p］	640 × 480	30p	30 コマ / 秒	約 4 Mbps

4K 動画を撮る

撮影モード：iA iA+ P A S M M+ C SCN

［画質設定］のサイズを［4K］に設定することで、きめ細かい 4K 動画を撮影することができます。

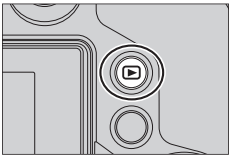
- 4K 動画を撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。（P.15）
- 4K 動画の場合、他のサイズの動画よりも画角が狭くなります。

■4K 動画を撮影するには

① 撮影モードを選ぶ（P.20）
② ［動画］メニューの［記録方式］を［MP4］に設定する（上記）
③ ［動画］メニューの［画質設定］を［4K/100M/30p］または［4K/100M/24p］に設定する（上記）
④ 動画ボタンを押して、撮影を開始する
⑤ もう一度動画ボタンを押して、終了する

● 高い精度でピントを合わせるためにオートフォーカスの速度を抑えて撮影します。オートフォーカスでピントが合いにくいことがありますが、異常ではありません。

写真を見る



1 再生ボタンを押す
- 撮影画面から再生画面に切り換えると、約 15 秒後にレンズ鏡筒が収納されます。

2 ◀▶ で表示する画像を選ぶ
- 後ダイヤルを回す、または画面を水平にドラッグ（P.23）しても画像を送ることができます。

Web サービスへの送信について

画像を 1 枚ずつ表示中、▼ を押すと手軽に Web サービスへ送ることができます。
詳しくは、「取扱説明書 活用ガイド」（PDF 形式）をお読みください。

■再生を終了するには

再度、再生ボタンを押すか、動画ボタンを押してください。またはシャッターボタンを半押ししてください。

動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式は AVCHD または MP4 です。
- 動画には動画アイコン（[🎥]）が表示されます。

1 ▲ を押して再生する
- 画面中央の［▶］をタッチしても動画を再生できます。

動画記録時間
例）29 分 30 秒のとき：
29m30s

■動画再生中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶/❚❚	再生 / 一時停止
◀	◀◀	早戻し※1
	◀❚❚	（一時停止中）コマ戻し※2
🔉	−	音量を下げる

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▼	■	停止
▶	▶▶	早送り※1
	❚❚▶	（一時停止中）コマ送り
🔊	+	音量を上げる

※1 もう一度 ◀▶ を押すと、早戻し / 早送り速度が速くなります。
※2［AVCHD］で撮影した動画は、約 0.5 秒ごとのコマ戻しになります。

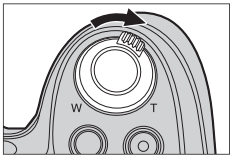
- 一時停止中に［MENU/SET］ボタンを押すと、動画から写真を作成できます。

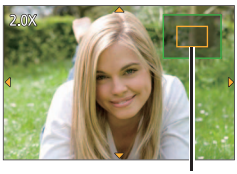
再生方法を切り換える

拡大して見る（再生ズーム）

1 ズームレバーを T 側に回す

- ズームレバーを T 側に回すごとに、2/4/8/16 倍に拡大します。（表示画質は粗くなります）
- ズーム倍率を縮小するとき→ズームレバーを W 側に回す
- 拡大したい部分をピンチアウト / ピンチイン（P.23）しても、画像を拡大 / 縮小することができます。
- 倍率を変えると、約 1 秒間ズーム位置が表示されます。
- ▲▼◀▶ を押す、または画面をドラッグ（P.23）すると、拡大部分を移動することができます。
- 2 回連続で素早くタッチしても、拡大表示できます。（拡大表示していた場合は、等倍表示に戻ります）
- 再生ズーム中に後ダイヤルを回すと、ズーム倍率、ズーム位置を保持したまま画像を送ることができます。



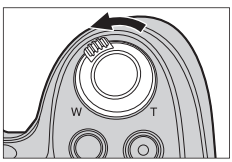


ズーム位置表示

画像を一覧で見る（マルチ再生）

1 ズームレバーを W 側に回す

- ズームレバーを W 側に回すと、1 画面表示→ 12 画面表示→ 30 画面表示→カレンダー画面に切り換わります。（T 側に回すと戻ります）
- 以下のアイコンをタッチすると、再生画面を切り換えることができます。
  - –［▣］：1 画面
  - –［▩］：12 画面
  - –［▩］：30 画面
  - –［CAL］：カレンダー再生
- 画面を上下にドラッグすると少しずつ画像を切り換えることができます。
- 12 画面または 30 画面で、カーソルボタンで画像を選んで［MENU/SET］ボタンを押すと、1 画面表示されます。



画像を撮影日ごとに見る（カレンダー再生）

1 ズームレバーを W 側に回して、カレンダー画面を表示する

2 ▲▼◀▶ で撮影日を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

- 12 画面表示に切り換わります。
- カレンダー画面表示に戻すには、ズームレバーを W 側に回してください。

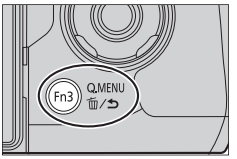
写真や動画を消す（消去）

一度消した画像は元に戻せません。

1 枚消去

1 **消去する画像を表示中に［Q.MENU 🗑/↩］ボタンを押す**

- ［🗑］をタッチしても同じ操作ができます。



2 **▲で［1 枚消去］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す**

- 確認画面が表示されます。［はい］を選ぶと消去されます。

複数消去（100 枚※まで）/ 全画像を消去する

※グループ画像は 1 枚として扱います。（選んだグループ画像内のすべての画像が消去されます）

1 **画像を表示中に［Q.MENU 🗑/↩］ボタンを押す（上記）**

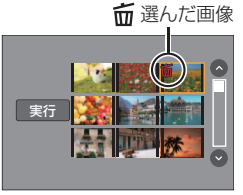
2 **▲▼で［複数消去］/［全画像消去］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す**

- ［全画像消去］のとき→確認画面が表示されます。［はい］を選ぶと消去されます。
- ［全画像消去］のとき［お気に入り］画像があると、［お気に入り以外全消去］が選べます。

3 **（［複数消去］のとき）**

▲▼◀▶で画像を選び、［MENU/SET］ボタンを押す（繰り返す）

- 解除するとき→再度［MENU/SET］ボタンを押す



4 **（［複数消去］のとき）**

◀で［実行］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。［はい］を選ぶと消去されます。

[再生] メニューを使う

[RAW 現像]

RAW 形式（P.38）で撮影した写真をカメラで現像できます。作成した写真は JPEG 形式で保存されます。効果を確認しながら調整して現像することができます。

1 メニューを設定する（P.25）

MENU ボタン→ ▶ [再生] → [RAW 現像]

2 ◀▶ で RAW 画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲▼ で項目を選ぶ

ホワイトバランス	ハイライト	超解像
露出補正	シャドウ	シャープネス
フォトスタイル	彩度 / 色調※	設定
iD レンジコントロール	フィルター効果※	[調整前に戻す] / [色空間] / [記録画素数]
コントラスト	ノイズリダクション	

※[フォトスタイル] で [モノクローム] を選択している場合のみ

4 [MENU/SET] ボタンを押し、設定する

- 項目により設定方法が異なります。

5 [MENU/SET] ボタンを押す

- 手順 **3** に戻ります。他に設定したい項目がある場合は、手順 **3** から **5** を繰り返してください。

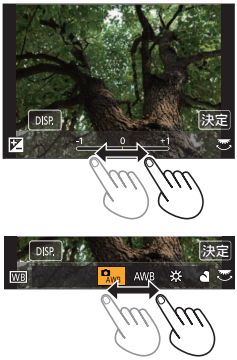
6 ▲▼ で [RAW 現像実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。

■各項目の設定方法

項目を選ぶと、設定画面が表示されます。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
◀▶	ドラッグ	調整の選択
▲	[色温度設定]	色温度設定画面を表示（[ホワイトバランス] の [K] 選択時のみ）
▼	[調整]	ホワイトバランス微調整画面を表示（[ホワイトバランス] 選択時のみ）
[DISP.]	[DISP.]	比較画面を表示
[MENU/SET]	[決定]	調整内容を決め、項目の選択画面に戻る



- [ノイズリダクション]、[超解像]、[シャープネス] 選択時、比較画面の表示はできません。
- ズームレバーで拡大表示することができます。2 回連続で素早くタッチしても、拡大表示できます。（拡大表示していた場合は、等倍表示に戻ります）

比較画面では以下の方法で調整ができます。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
◄►	ドラッグ	調整の選択
[DISP.]	[DISP.]	設定画面に戻る
[MENU/SET]	[決定]	調整内容を決め、項目の選択画面に戻る

現在の設定

- 中央の写真をタッチすると拡大表示されます。[⮌] をタッチすると元の表示に戻ります。

■[設定] 選択時

55 ページの手順 **3** で [設定] を選ぶと、[調整前に戻す]、[色空間]、[記録画素数] の選択画面が表示されます。

①▲▼ で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- [調整前に戻す] を選択時、確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行され、項目の選択画面に戻ります。

②▲▼ で設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 本機で行う RAW 現像の結果と、CD-ROM（付属）のソフトウェア「SILKYPIX Developer Studio」で行う RAW 現像の結果は完全には一致しません。
- 撮影時の画像横縦比にかかわらず、本機で撮影した RAW 画像は常に [4:3]（4000 × 3000）で記録されますが、[再生] メニューの [RAW 現像] では撮影時の画像横縦比固定で現像されます。
- RAW 現像できるのは本機で撮影した RAW 画像のみです。

[動画分割]

1 つの動画を 2 つに分割できます。必要なシーンのみ残したいときや、旅先などでカードの空き容量を増やすために不要なシーンを消去したいときに便利です。

1 メニューを設定する（P.25）

MENU ボタン→ ▶ [再生] →[動画分割]

2 ◄► で分割する動画を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 分割する場所で ▲ を押して一時停止する

- 一時停止中に ◄► を押すと、分割位置の細かい調整をすることができます。

4 ▼ を押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと分割されます。
- **分割した元の動画は残りません。**（分割後の 2 つの動画のみになります）

- 動画の最初や最後の部分では分割できない場合があります。
- 撮影時間が短い動画は分割できません。

Wi-Fi® 機能でできること

スマートフォン / タブレットとつないで使う（P.58）
パスワードの入力なしに、簡単にスマートフォンとの直接接続ができます。（簡単接続）

- スマートフォンで撮影する（P.60）
- カメラの画像を再生する（P.61）
- カメラの画像を保存する（P.61）
- カメラの画像を SNS へ送信する（P.61）
- スマートフォンから、カメラの画像に位置情報を追加する（P.62）
- スナップムービーで撮影した動画をスマートフォンでお好みに結合する（P.62）

テレビに写真を映す
ワイヤレスでプリントする
AV 機器に画像を送る

パソコンに画像を送る
Web サービスを利用する

- **このページ以降、特にスマートフォンとタブレットを区別しない限り、本書では「スマートフォン」と記載します。**
- **詳しい操作説明は、「取扱説明書 活用ガイド」（PDF 形式）をお読みください。**
- スマートフォンの機能や操作方法については、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。

Wi-Fi 機能について

■ご使用の前に

- あらかじめ時計設定をしておいてください。（P.17）
- 本機で Wi-Fi 機能を使用するには、無線アクセスポイントまたは接続先の機器に無線 LAN 機能が必要です。

- 本機は公衆無線 LAN 環境を経由して無線 LAN 接続することはできません。
- 無線アクセスポイントは、IEEE802.11b、IEEE802.11g または IEEE802.11n 対応のものをご使用ください。
- 情報セキュリティーのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを 強くお勧めします。
- 画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- **通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。**

■Wi-Fi 接続ランプの表示について

Wi-Fi 接続ランプ
青色点灯：Wi-Fi 機能 ON 時
青色点滅：画像データ送信時

［Wi-Fi］ボタンについて

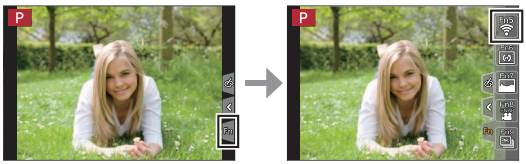
本書では［Wi-Fi］を設定したファンクションボタンを［Wi-Fi］ボタンと記載して説明しています。（お買い上げ時は、［Fn5］に［Wi-Fi］が設定されています）

• ファンクションボタンについて詳しくは 26 ページをお読みください。

■［Wi-Fi］ボタンを押す操作

1 ［Fn］をタッチする

2 ［Fn］をタッチする



■Wi-Fi 接続する前に［Wi-Fi］ボタンを押す

本機がスマートフォンとの接続待機状態になり、スマートフォンに直接接続することができます。（P.59）

• スマートフォンを本機に直接接続するために必要な情報（SSID）が表示されます。

• ［DISP.］ボタンを押すと、以下の項目を選択できます。

［新規に接続する］	—
［履歴から接続する］	以前と同じ設定で接続します。 **履歴をお気に入り登録する** ① 登録したい項目を選び、▶ を押す ② 登録名を入力する
［お気に入りから接続する］	お気に入りに登録された設定で接続します。

■Wi-Fi 接続中に［Wi-Fi］ボタンを押す

• 以下の項目を選択できます。

［接続を終わる］	**［画像の送信設定を変える］**	**［ネットワークアドレス表示］**
［接続先を変える］	**［今の接続先をお気に入りに入れる］**	

スマートフォンとつないで使う

スマートフォン / タブレットアプリ「Panasonic Image App」をインストールする

「Image App」はパナソニック株式会社が提供するアプリケーションです。

対応 OS	Android™：Android 4.0 以上 iOS：iOS 6.0 以上（iPhone 3GS には対応していません。）

1 スマートフォンをネットワークに接続する
2 （Android）「Google Play™ ストア」を選ぶ
（iOS）　「App Store℠」を選ぶ
3 検索フィールドに「Panasonic Image App」または「LUMIX」と入力する
4 「Panasonic Image App」 を選び、インストールする

- 最新のバージョンをお使いください。
- 対応 OS は 2015 年 7 月現在のものです。また、対応 OS は変更する場合があります。
- 操作方法などについて、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- 本機とスマートフォンを Wi-Fi 接続して「Image App」で操作中は、お使いのスマートフォンによっては、「Image App」の「ヘルプ」の表示ができません。その場合は、いったん本機との Wi-Fi 接続を終了して、3G や LTE 等の携帯電話回線、またはインターネット回線に接続後、「Image App」の「ヘルプ」を表示してください。
- 対応 OS や「Image App」のバージョンによって、本書に掲載している画面や内容と一部異なる場合があります。
- お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。
「Image App」の最新情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/dsc/
- 3G や LTE などの携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり写真や動画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

スマートフォンと接続する

特に断りのない限り、スマートフォン / タブレットの操作は、iOS 端末（iPhone、iPod touch、iPad）、Android 端末共通です。

パスワードを入力せずに接続する

スマートフォンでパスワードを入力することなく、本機と Wi-Fi 接続することができます。

1 カメラのメニューを設定する（P.25）

MENU ボタン→ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する] → [スマートフォンとつないで使う]

- スマートフォンを本機に直接接続するために必要な情報（SSID）が表示されます。
- カメラの［Wi-Fi］ボタンを押すことでも表示できます。

2 スマートフォンの設定メニューで Wi-Fi 機能を ON にする
3 スマートフォンの Wi-Fi 設定画面で、カメラに表示された SSID を選ぶ
4 スマートフォンで「Image App」を起動する
- 本機に接続確認画面が表示されますので、［はい］を選び、［MENU/SET］ボタンを押してください。（初回接続時のみ）

お買い上げ時は［Wi-Fi パスワード］が［OFF］に設定されています。このような場合、第三者によって Wi-Fi の電波を傍受され、通信内容を盗み取られるおそれがあります。
［Wi-Fi パスワード］を［ON］に設定する場合は 60 ページをお読みください。

パスワードを利用して接続する

準備
（カメラ側）［Wi-Fi パスワード］を［ON］にする
MENU ボタン→ ［セットアップ］→［Wi-Fi］→［Wi-Fi 設定］→［Wi-Fi パスワード］→［ON］

1 カメラのメニューを設定する（P.25）

MENU ボタン→ ［セットアップ］→［Wi-Fi］
→［Wi-Fi 機能］→［新規に接続する］
→［スマートフォンとつないで使う］

- スマートフォンを本機に直接接続するために必要な情報（QR コード、SSID とパスワード）が表示されます。
- カメラの［Wi-Fi］ボタンを押すことでも表示できます。

SSID とパスワード

QR コード

2 スマートフォンの設定メニューで Wi-Fi 機能を ON にする

3 スマートフォンの Wi-Fi 設定画面で、カメラに表示された SSID を選ぶ

4 カメラに表示されたパスワードをスマートフォンに入力する

< Android 端末をお使いの場合>

- パスワードを表示する項目にチェックを入れると、入力中のパスワードを確認できます。

5 スマートフォンで「Image App」を起動する

● QR コードを使って接続することもできます。詳しくは、「取扱説明書 活用ガイド」（PDF 形式）をお読みください。

接続を終了する

使用後はスマートフォンとの接続を終了してください。

1 （カメラ側）撮影待機画面でカメラのメニューから終了する

MENU ボタン→ ［セットアップ］→［Wi-Fi］→［Wi-Fi 機能］→［はい］

- カメラの［Wi-Fi］ボタンを押すことでも終了できます。

2 （スマートフォン側）「Image App」を終了する

- アプリケーションの終了方法については、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。

スマートフォンで撮影する（リモート撮影）

1 スマートフォンと接続する（P.59）

2 スマートフォンを操作する

① ［ ］を選ぶ

② 撮影する

- 撮影した画像はカメラに保存されます。
- 設定など一部利用できないものがあります。

カメラの画像を再生する

1 スマートフォンと接続する（P.59）

2 スマートフォンを操作する

① [▶] を選ぶ
- 画面左上のアイコンで、表示する画像を切り換えられます。カメラの画像を表示するには［LUMIX］を選んでください。
- 画像をタッチすると、画像が大きく再生されます。

● 動画再生時は、データサイズを小さくして「Image App」に送信しているため、実際に撮影された画質とは異なります。また、お使いのスマートフォンや使用環境によって、動画や写真の再生時に、画質劣化や音飛びが発生する場合があります。

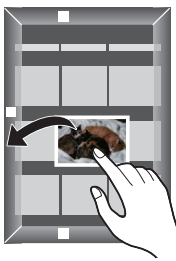
カメラの画像を保存する

1 スマートフォンと接続する（P.59）

2 スマートフォンを操作する

① [▶] を選ぶ
- 画面左上のアイコンで、表示する画像を切り換えられます。カメラの画像を表示するには［LUMIX］を選んでください。

② 画像を長押ししてドラッグし、スマートフォンに保存する



● お好みに合わせて、上下左右に機能を割り当てることができます。
● RAW 形式の写真、AVCHD 動画、［画質設定］のサイズが［4K］の MP4 動画、4K 連写ファイルは保存できません。

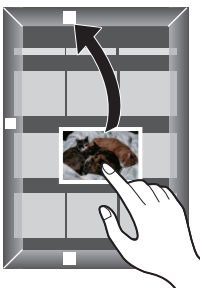
カメラの画像を SNS へ送信する

1 スマートフォンと接続する（P.59）

2 スマートフォンを操作する

① [▶] を選ぶ
- 画面左上のアイコンで、表示する画像を切り換えられます。カメラの画像を表示するには［LUMIX］を選んでください。

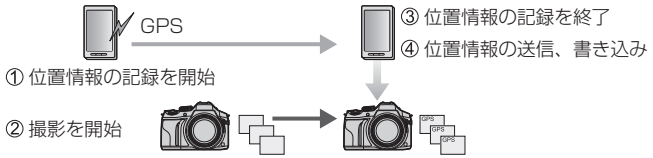
② 画像を長押ししてドラッグし、SNS などに送信する
- SNS などの Web サービスに画像が送信されます。



● お好みに合わせて、上下左右に機能を割り当てることができます。

スマートフォンから、カメラの画像に位置情報を追加する

スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信できます。**送信後にカメラの画像に書き込むこともできます。**



■スマートフォンを操作する

❶ スマートフォンと接続する（P.59）
❷［⌂］を選ぶ
❸［✕］を選ぶ
❹ アイコンを選ぶ

	位置情報の記録を開始 / 停止します。（上記 ① / ③） • 位置情報の記録中はスマートフォンの電池の消耗が早くなります。位置情報記録を使用しない場合は、位置情報の記録を停止してください。
	位置情報の送信、書き込みを行います。（上記 ④） • 画面のメッセージに従って、操作してください。 • 位置情報が書き込まれた画像には［GPS］が表示されます。

スナップムービーで撮影した動画をスマートフォンでお好みに結合する

スマートフォンを使って、カメラの［スナップムービー］（P.73）で撮影した動画をつなぎ合わせて音楽を付けることができます。つなぎ合わせた動画を保存したり、Web サービスへアップロードしたりできます。

1 スマートフォンと接続する（P.59）

2 スマートフォンを操作する

① ［⌂］を選ぶ
② ［SNAP］を選ぶ
- カメラの［スナップムービー］で撮影した動画のうち、日付の新しいものから自動でスマートフォンに送信されます。
- 日付の新しい動画がない場合は動画の選択画面が表示されるので、動画を選んで送信してください。

③ 動画を編集する
- 「Image App」の［スナップムービー］の操作について、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。

● 「Image App」の［スナップムービー］は、Android OS 4.3 以上に対応している必要があります。
● 「Image App」の［スナップムービー］は、iPhone 4、iPod touch（第 4 世代）には対応していません。

写真や動画をパソコンに残す

■使用できるパソコン

マスストレージデバイス（大容量記憶装置）を認識できるパソコンに接続することができます。

- Windows の場合：Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista
- Mac の場合：OS X v10.5 ～ v10.10

AVCHD 動画は、ファイルやフォルダーのコピーでは正しく取り込めない場合があります。

- Windows の場合、AVCHD 動画は必ず CD-ROM（付属）の「PHOTOfunSTUDIO」をお使いください。
- Mac の場合、AVCHD 動画は「iMovie」を使って取り込むことができます。
  ただし、画質設定によっては、取り込みできない場合があります。
  （iMovie の詳細は、Apple にお問い合わせください）

付属のソフトウェアについて

CD-ROM（付属）には、以下のソフトウェアが収録されています。
パソコンにインストールしてお使いください。

PHOTOfunSTUDIO 9.7 PE

パソコンに写真や動画を取り込んだり、取り込んだ画像を撮影日や撮影したデジタルカメラの機種名などで分類して整理することができます。また、写真の補正や動画の編集、DVD への書き込みなどもできます。

- **対応 OS：Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista**

SILKYPIX Developer Studio 4.3 SE

RAW ファイルの画像を現像や編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式（JPEG、TIFF など）で保存できます。

- **対応 OS：Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista**
  Mac OS X v10.6 ～ v10.10
- **SILKYPIX Developer Studio の使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」または以下の市川ソフトラボラトリーのサポートサイトをご覧ください。**
  http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/support/

LoiLoScope -30 日間フル体験版

LoiLoScope は、お手持ちのパソコンをフル活用する、簡単に動画編集できるソフトウェアです。今までになかった机の上でカードを並べるようにして作るアナログ操作は、覚えることなく初めてでも思いのままに操作し、DVD、Web サイト、メール等々を使い、素早く動画や写真を友達に届けることができます。

- **対応 OS：Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista**
- インストールされるのは、体験版ダウンロードサイトへのショートカットのみになります。
- **LoiLoScope の詳しい使い方は、以下のサイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。**
  使い方 Web サイト：http://loilo.tv/product/20

付属ソフトウェアをインストールする

• CD-ROM（付属）を入れる前に、他の起動中のアプリケーションソフトをすべて終了しておく。

1 お使いのパソコンの環境を確認する

• 「PHOTOfunSTUDIO」の動作環境

対応 OS	Windows® 8.1（32 bit/64 bit） Windows® 8（32 bit/64 bit） Windows® 7（32 bit/64 bit）および SP1 Windows Vista®（32 bit）SP2	
CPU	Windows® 8.1	Pentium® Ⅲ 1 GHz 以上
	Windows® 8	
	Windows® 7	
	Windows Vista®	Pentium® Ⅲ 800 MHz 以上
ディスプレイ	1024 × 768 以上（1920 × 1080 以上を推奨）	
搭載メモリ	Windows® 8.1	1 GB 以上（32 bit）/ 2 GB 以上（64 bit）
	Windows® 8	
	Windows® 7	
	Windows Vista®	512 MB 以上
ハードディスク	インストールに 450 MB 以上の空き容量	

• 4K 動画を編集するときは、Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 の 64bit 版が必要です。
• その他の動作環境について、詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書（PDF）をお読みください。
• 「SILKYPIX Developer Studio」の動作環境は、63 ページのサポートサイトをお読みください。

2 CD-ROM（付属）を入れる

• 自動再生画面が表示された場合、［Launcher.exe の実行］を選ぶと、メニューを表示できます。
• Windows 8.1 / Windows 8 では CD-ROM を入れたあとに表示されるメッセージをクリックし、［Launcher.exe の実行］を選ぶと、メニューを表示できます。
• ［コンピューター］内の［SFM ○○○○］をダブルクリックすることでもメニューを表示できます。（○○○○は機種によって異なります）

3 ［アプリケーション］をクリックする

4 ［おまかせインストール］をクリックする

• 画面のメッセージに従ってインストールを進めてください。

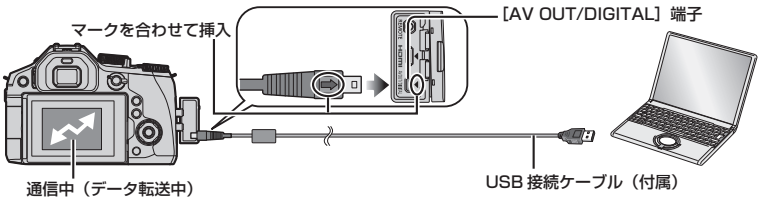
● お使いのパソコンに対応したソフトウェアのみがインストールされます。
● Mac では、SILKYPIX を手動でインストールすることができます。
① CD-ROM を入れる
② CD-ROM の「Application」フォルダーをダブルクリックする
③ 自動で表示されるフォルダーをダブルクリックする
④ フォルダー内にあるアイコンをダブルクリックする
● 「PHOTOfunSTUDIO」、「LoiLoScope」は Mac では使えません。

写真、動画を取り込む

準備
- パソコンに「PHOTOfunSTUDIO」をインストールしておく。(P.64)
- 本機とパソコンの電源を入れる。本機のモニター面を表にする。

1 本機とパソコンを接続する

- 端子の向きを確認し、まっすぐ入れてください。(向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります)また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。
- 付属の USB 接続ケーブルまたは当社製 USB 接続ケーブル(別売:DMW-USBC1)以外は使わないでください。



- 表示中は USB 接続ケーブル(付属)を抜かない。

2 ▲▼で[PC]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- [セットアップ]メニューで[USB モード](P.75)を[PC]に設定しておくと、[USB モード]の選択画面は表示されず、自動的にパソコンと接続します。

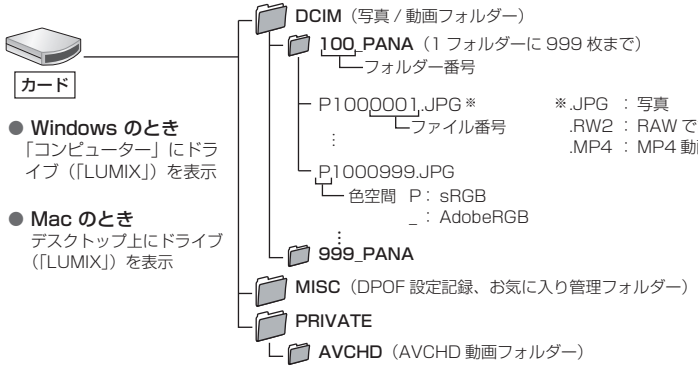
3 「PHOTOfunSTUDIO」を使って画像をパソコンにコピーする

- コピーしたファイルやフォルダーを、Windows のエクスプローラーなどで消去や移動などを行わないでください。「PHOTOfunSTUDIO」を使って再生、編集などができなくなります。

■「PHOTOfunSTUDIO」を使わずにパソコンにコピーする

取り込みたい画像が入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグ&ドロップするとパソコンに画像を保存することができます。

- **本機のカードの中(フォルダー構造)は以下のようになります。**

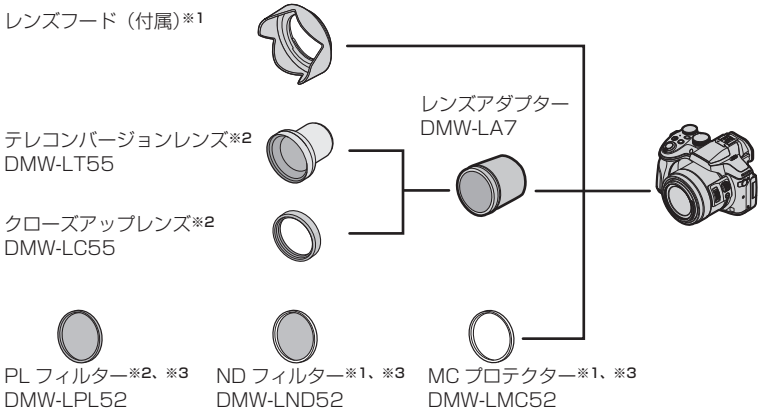


別売品のご紹介

品名	品番
バッテリーパック	DMW-BLC12
バッテリーチャージャー※1	DMW-BTC6
AC アダプター※2	DMW-AC10
DC カプラー※2	DMW-DCC8
レンズアダプター	DMW-LA7
テレコンバージョンレンズ※3	DMW-LT55
クローズアップレンズ※3	DMW-LC55
MC プロテクター	DMW-LMC52
ND フィルター	DMW-LND52
PL フィルター（サーキュラータイプ）	DMW-LPL52
フラッシュライト	DMW-FL360L、DMW-FL580L
LED ビデオライト	VW-LED1
シャッターリモコン	DMW-RSL1
ステレオガンマイクロホン	DMW-MS2
ステレオマイクロホン	VW-VMS10
AV ケーブル	DMW-AVC1
USB 接続ケーブル	DMW-USBC1
ショルダーストラップ	DMW-SSTG1、DMW-SSTG2、DMW-SSTG3、DMW-SSTG5、DMW-SSTL1
ロングショルダーストラップ※4	DMW-SSTG6、DMW-SSTG7、DMW-SSTG8、DMW-STLA1
ソフトバッグ	DMW-BAG1、DMW-BAG2、DMW-BALA1、DMW-CZ18
本革カメラバッグ	DMW-BAL1
ソフトケース	DMW-CG2

※1 海外用変換プラグ（C タイプ）付き
※2 AC アダプターと DC カプラーは、必ずセットでお買い求めください。単独では使用できません。
※3 本機に取り付けるにはレンズアダプター（別売：DMW-LA7）が必要です。
※4 斜め掛けに適したロングタイプのショルダーストラップです。

■レンズ装着組み合わせ図



※1 付属のレンズキャップを装着できます。
※2 付属のレンズキャップは装着できません。
※3 レンズフードを取り付けた状態で、フィルターを取り付けることはできません。

● 記載の品番は 2015 年 7 月現在のものです。変更されることがあります。

別売品の最新情報は、カタログ / ホームページなどをご覧ください。

パナソニックグループの
ショッピングサイト
Panasonic Store

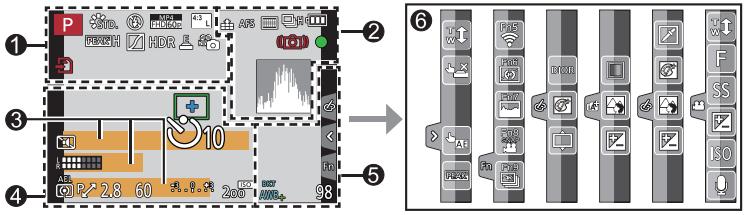
別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト
「パナソニックストア」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナソニックストア」のサイトをご覧ください。
http://jp.store.panasonic.com/

モニター / ファインダーの表示一覧

モニター / ファインダーの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

- 画面は［モニター表示スタイル］を［ ］（モニタースタイル）に設定時の例です。(P.75)
- 再生時の画面については、「取扱説明書 活用ガイド」（PDF 形式）をお読みください。

撮影時



❶

P A S M	撮影モード（P.20）
C1	カスタムセット（P.36）
STD. VIVD NAT MONO SCNY PORT CUST CNED CNEV	フォトスタイル（P.72）
	フラッシュモード（P.49）
2nd WL	フラッシュ設定
MP4 FHD 60P	記録方式 / 画質設定（P.51）
SNAP 4SEC	スナップムービー
4:3 L	画像横縦比 / 記録画素数（P.38）
STD. WIDE	画像サイズ（パノラマモード）（P.33）
	画像効果（フィルター）調整表示
POP	画像効果（フィルター）種別
	カード（記録時のみ表示）
XXhXXmXXs	記録経過時間※1（P.50）
	同時記録表示
LVF/ MON AUTO	ファインダー / モニター自動切換（P.19）
PEAK H PEAK L	ピーキング（P.41）
	ハイライトシャドウ（P.72）
HDR	HDR（P.72）/ iHDR（P.28）
	多重露出（P.72）
	コンバージョン（P.73）
E	電子シャッター（P.43）
	写真撮影（写真優先）（P.73）
	温度上昇表示（P.50、78）

❷

RAW	クオリティ（P.38）
240fps 120fps	ハイスピード動画（P.73）
AFS AFF AFC MF	フォーカスモード（P.39、41）
	オートフォーカスモード（P.40）
	ピント送り
	個人認証（P.73）
AFL	AF ロック（P.42）
H H M L	連写（P.44）
4K 6/5 PRE	4K フォト（P.45）
B	オートブラケット（P.47）
10 2	セルフタイマー（P.47）
	バッテリー残量表示
AF	マクロ撮影（P.40）
	動画傾き補正（P.73）
OFF	手ブレ補正（P.48）
	手ブレ警告表示
	記録動作（赤点滅）（P.50）/ フォーカス（緑点灯）（P.19）
LOW	フォーカス（低照度時）（P.19）
STAR	フォーカス（星空 AF 時）（P.19）
	Wi-Fi 接続状態
	ヒストグラム表示（P.74）

❸

名前※2
トラベル経過日数※3
月齢 / 年齢※2
旅行先※3
現在日時 / 旅行先設定※3：✈
露出メーター（P.30）
ズーム表示

❹

□	AF エリア（P.40）
＋	スポット測光ターゲット
＋	センターマーカー表示（P.74）
10 2	セルフタイマー※4（P.47）
ZOOM	ズームマイク（P.73）
L R	マイクレベル表示（P.73）
LMT OFF	マイクレベルリミッター（OFF）（P.73）
	サイレントモード（P.50）
	外部マイク
AEL	AE ロック（P.42）
	測光モード（P.24、72）
P↗	プログラムシフト（P.30）
2.8	絞り値（P.19）
60	シャッタースピード（P.19）
−3 0 +3	露出補正値（P.42）
	明るさ（露出）（P.29）
	マニュアル露出アシスト（P.31）
ISO 200	ISO 感度（P.43）

❺

Fn1 F	ダイヤル操作ガイド（P.74）
BKT	ホワイトバランスブラケット
AWB	ホワイトバランス微調整
	ホワイトバランス（P.37）
	色合い（P.29）
98	記録可能枚数※5（P.16）
残 XXmXXs	記録可能時間※1、※5（P.16）

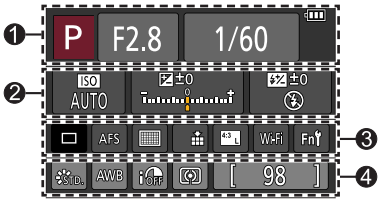
❻

タッチタブ

		タッチズーム
		タッチシャッター（P.24）
		タッチ AE（P.24）
		ピーキング（P.74）
Fn	Fn5 Fn6 Fn7 Fn8 Fn9	ファンクションボタン（P.26、58）
(P.35)		色合い（P.29）
		ボケ味コントロール（P.29）
		明るさ（露出）（P.29）
		ぼかし方（ジオラマ）
		ワンポイントカラー
		サンシャイン
		画像効果（フィルター）調整表示
	DIOR	画像効果（フィルター）
	F	絞り値（P.19）
	SS	シャッタースピード（P.19）
	ISO	ISO 感度（P.43）
		マイクレベル設定（P.73）

※1 h は「hour（時間）」、m は「minute（分）」、s は「second（秒）」を省略した表示です。
※2［プロフィール設定］を設定時、電源を入れた場合に約 5 秒間表示されます。（P.73）
※3 電源を入れたとき / 時計設定後 / 再生から撮影モードへ切り換え後、約 5 秒間表示されます。（P.75）
※4 カウントダウン中に表示されます。
※5［カスタム］メニューの［残枚数 / 残時間切換］（P.75）の設定で、記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えることができます。

■モニター撮影情報画面



❶

P A S M	撮影モード（P.20）
F2.8	絞り値（P.19）
1/60	シャッタースピード（P.19）
	バッテリー残量表示

❷

ISO AUTO	ISO 感度（P.43）
±0	露出補正値（P.42）
	明るさ（露出）（P.29）
	マニュアル露出アシスト（P.31）
	フラッシュモード（P.49）
±0	フラッシュ設定

❸

	単写（P.44）
	連写（P.44）
	4K フォト（P.45）
BKT 3·1/3	オートブラケット（P.47）
	セルフタイマー（P.47）
AFS AFF AFC MF	フォーカスモード（P.39、41）
	オートフォーカスモード（P.40）
RAW	クオリティ（P.38）
	画像横縦比 / 記録画素数（P.38）
Wi-Fi	Wi-Fi（P.58）
Fn	ファンクションボタン設定（P.26）

❹

STD. VIVD NAT MONO SCNY PORT CUST CNED CNEV	フォトスタイル（P.72）
AWB	ホワイトバランス（P.37）
iOFF	iD レンジコントロール（P.72）
	測光モード（P.24、72）
98	記録可能枚数（P.16）
残 XXmXXs	記録可能時間※（P.16）

※h は「hour（時間）」、m は「minute（分）」、s は「second（秒）」を省略した表示です。

メッセージ表示

モニター / ファインダーに表示される、主なメッセージの意味と対処法です。
•「取扱説明書 活用ガイド」（PDF 形式）には、より多くが記載されています。併せてご確認ください。

消去できない画像があります / この画像は消去できません

- DCF 規格に準拠していない画像は消去できません。
  →パソコンなどに必要なデータを保存してから、本機でフォーマットして消去してください。（P.16）

メモリーカードエラー / フォーマットしますか？

- 本機では認識できないフォーマットです。
  →パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット（P.16）してください。
- 別のカードを入れてお試しください。

メモリーカードエラー / このカードは使用できません

- 本機では対応していません。対応するカードをご使用ください。（P.15）

カードを入れ直してください / 別のカードでお試しください

- カードへのアクセスに失敗しました。
  →カードを入れ直してください。
- 別のカードを入れてお試しください。

リードエラー / ライトエラー / カードを確認してください

- データの読み込みに失敗しました。
  →カードが確実に入っているか確認してください。（P.15）
- データの書き込みに失敗しました。
  →電源スイッチを［OFF］にしてからカードを抜き、再び入れてから電源スイッチを［ON］にしてください。
- カードが壊れている可能性があります。
  →別のカードを入れてお試しください。

このバッテリーは使えません

- パナソニック純正バッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- バッテリーの端子部が汚れているため、認識できません。
  →端子部のごみなどを取り除いてください。

アクセスポイントの接続に失敗しました / 接続できませんでした / 送信先が見つかりませんでした

- 無線アクセスポイントについて、以下をご確認ください。
  - 本機に設定した無線アクセスポイント情報が間違っています。認証方式・暗号化方式・暗号化キーをご確認ください。
  - 無線アクセスポイントの電源が入っていません。
  - 本機がサポートしていない無線アクセスポイントの設定です。
- 接続先のネットワーク設定をご確認ください。
- 他の機器の電波により、無線アクセスポイントに接続できない場合があります。
  →無線アクセスポイントに接続している他の機器や、2.4 GHz の周波数を使用する機器の使用状況をご確認ください。

送信できる画像がありません

- 送信先の制限によって、送信できる画像が 1 つもない場合に表示されます。送信する画像のファイル形式を確認してください。

メニュー一覧

• [フォトスタイル]、[フィルター設定]、[AFS/AFF]、[測光モード]、[ハイライトシャドウ]、[iD レンジコントロール]、[超解像]、[回折補正]、[iA ズーム]、[デジタルズーム]、[コンバージョン] は、[撮影] メニューと [動画] メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

[撮影]

フォトスタイル	撮りたいイメージに合わせて、効果を選択することができます。効果の色や画質を調整することができます。
フィルター設定	画像効果（フィルター）に関する設定をします。
画像横縦比	写真の横縦比を設定します。(P.38)
記録画素数	記録画素数を設定します。(P.38)
クオリティ	画像を保存するときの圧縮率を設定します。(P.38)
AFS/AFF	フォーカスモードレバーの [AFS/AFF] に、[AFS] または [AFF] のいずれかを割り当てます。(P.39)
測光モード	明るさを測る測光方式を切り換えることができます。
連写速度	連写時の連写速度を設定します。(P.44)
4K フォト	4K フォトの撮影のしかたを設定します。(P.45)
オートブラケット	オートブラケット撮影時の単写 / 連写設定、補正幅、撮影順序を設定します。(P.47)
セルフタイマー	セルフタイマー撮影時の撮影までの時間などを設定します。(P.47)
ハイライトシャドウ	画像の明るい部分と暗い部分の明るさを画面で確認しながら調整できます。
iD レンジコントロール	コントラストや露出を補正します。
超解像	より輪郭がはっきりした、解像感がある写真を撮影します。
i 手持ち夜景	夜景を高速連写で撮影し 1 枚の画像に合成します。(P.28)
iHDR	背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して 1 枚の階調豊かな写真に合成します。(P.28)
HDR	露出の異なる写真を 3 枚撮影して 1 枚の階調豊かな写真に合成します。
多重露出	1 枚の画像に最大 4 回の露光を行ったような効果を得ることができます。
インターバル撮影	撮影開始時刻、撮影間隔、撮影枚数を設定し、動植物などの被写体を時間経過を追って自動的に撮影することができます。
コマ撮りアニメ	写真をつなぎ合わせてストップモーション動画を作成します。
パノラマ設定	パノラマ撮影の撮影方向と画像サイズを設定します。(P.33)
シャッター方式	メカシャッター方式と電子シャッター方式の 2 種類のシャッター方式で撮影できます。(P.43)
フラッシュ設定	撮影内容に合わせて、フラッシュの設定を行います。(P.49)
デジタル赤目補正	フラッシュ発光での赤目を自動的に検出し、画像データを修正します。
ISO 感度上限設定	ISO 感度が [AUTO] または [ISO] のときに、選択した数値を上限として最適な ISO 感度を設定します。

ISO 感度ステップ	ISO 感度の設定を 1/3EV ごと、または 1EV ごとの設定値に変更します。
回折補正	絞りを絞ったときの回折現象のボケを補正し、画像の解像感を高めます。
iA ズーム	画像の劣化を抑えつつ、ズーム倍率を上げることができます。(P.48)
デジタルズーム	望遠効果を高めます。拡大するほど画質は劣化します。(P.48)
コンバージョン	コンバージョンレンズ（別売）に合った設定に変更します。
色空間	撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。
手ブレ補正	撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正します。(P.48)
個人認証	登録した顔に自動で優先的にピントや露出を合わせます。
プロフィール設定	あらかじめ赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢 / 年齢を画像に記録することができます。

[動画]

スナップムービー	撮影時間をあらかじめ指定し、スナップ写真を撮るような感覚で動画を撮影します。
記録方式	記録する動画のファイル形式（AVCHD、MP4）を設定します。(P.51)
画質設定	記録する動画の画質（サイズ、記録フレームレートなど）を設定します。(P.51)
動画露出設定	クリエイティブ動画モード時の絞り値、シャッタースピードの設定方法を選びます。(P.35)
ハイスピード動画	被写体の動きをスローモーションで再生できる動画の撮影速度を設定します。
写真撮影	動画撮影中の写真の記録方法を設定します。
AF 連続動作	ピントを合わせた被写体にピントを合わせ続けます。
動画傾き補正	カメラの傾きを自動的に検出して、撮影される動画が傾かないように水平に補正します。
フリッカー軽減	動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定することができます。
タッチ静音操作	タッチ操作をすることで、動画撮影中でも静かに操作できます。(P.35)
マイクレベル表示	マイクレベルを撮影画面に表示するかしないかを設定します。
マイクレベル設定	音声入力のレベルを 19 段階に調整します。
専用マイク設定	ステレオガンマイクロホン（別売）接続時の収音方法を設定します。
マイクレベルリミッター	音声入力のレベルを自動的に調整します。
風音キャンセラー	音声記録時に風雑音がある場合に、風雑音を効果的に低減します。
風音低減	外部マイク（別売）を装着して音声記録時に風雑音がある場合、風雑音を効果的に低減します。
ズームマイク	ズーム操作に連動して、望遠では遠くの音、広角では周囲の音をよりクリアに記録します。

f C［カスタム］

カスタムセット登録	現在のカメラの設定をカスタムセットとして登録します。（P.36）
サイレントモード	操作音と発光の禁止を一括で設定します。（P.50）
AF/AE ロック切換	AF/AE ロックを行ったときに、ピントや露出の固定内容を設定します。
AF/AE ロック維持	ピントや露出を固定して撮影する際の［AF/AE LOCK］のボタン動作を設定します。
シャッター半押し AF	シャッターボタン半押し時に、自動的にピントを合わせるか合わせないかを設定します。
シャッター半押しレリーズ	シャッターボタン半押しで、すぐにシャッターを切ることができます。
クイック AF	シャッターボタンを押した際のピント合わせを速くします。
アイセンサー AF	アイセンサー動作時に、カメラが自動的にピント合わせを行います。
ピンポイント AF 時間	オートフォーカスモードを［⊡］に設定時、シャッターボタンを半押ししたときに画面表示が拡大される時間を設定します。
ピンポイント AF 表示	オートフォーカスモードを［⊡］に設定時、アシスト画面を画面の一部に表示するか、全画面表示にするかを設定します。
AF 補助光	暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しで AF 補助光ランプが点灯します。
ダイレクトフォーカス移動	撮影時にカーソルボタンを使って、AF エリアや MF アシストを移動します。
フォーカス / レリーズ優先	ピントが合っていない場合は撮影できないように設定します。
AF+MF	自動でピントを合わせたあと、手動でピントを合わせることができます。
MF アシスト	MF アシスト（拡大画面）の表示方法を設定します。
MF アシスト表示	MF アシスト（拡大画面）を画面の一部に表示するか、全画面表示にするかを設定します。
MF ガイド	手動でピントを合わせると、ピントを合わせる方向を確認できる MF ガイドを画面に表示します。
ピーキング	手動でピントを合わせているときに、ピントが合っている部分に色を付けて表示します。
ヒストグラム表示	ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。
ガイドライン表示	撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。
センターマーカー表示	撮影画面の中心を示す［+］を表示します。
ハイライト表示	オートレビューまたは再生時に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。
ゼブラパターン表示	白飛びのおそれがある部分を縞模様に表示します。
モノクロライブビュー	撮影画面を白黒表示にすることができます。
常時プレビュー（M モード）	マニュアル露出モード時に、撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果の確認ができます。
露出メーター	露出メーターを表示するかしないかを設定します。
ダイヤル操作ガイド	ダイヤル操作ガイドを表示するかしないかを設定します。

LVF 表示スタイル	ファインダーの表示方法を設定します。
モニター表示スタイル	モニターの表示方法を切り換えます。
モニター撮影情報画面	モニターの撮影情報画面を切り換えます。
記録枠表示	写真撮影時と動画撮影時の画角を切り換えます。
残枚数 / 残時間切換	記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えます。
オートレビュー	写真撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。
Fn（ファンクション）ボタン設定	特定のボタンに、よく使う機能を割り当てます。(P.26)
サイドボタン設定	サイドボタンの動作を切り換えます。(P.22)
ズームレバー	ズームレバーの動作をステップズームに切り換えます。
サイドレバー	サイドレバーの動作をステップズームに切り換えます。
ズーム位置メモリー	電源スイッチを［OFF］にしたときのズーム位置を記憶します。
Q.MENU	クイックメニューの設定方法を切り換えます。
ダイヤル設定	サイドダイヤルと後ダイヤルの操作方法や動作を切り換えます。(P.20)
動画ボタン	動画ボタン動作の有効 / 無効を設定します。
アイセンサー	アイセンサーの感度やモニター表示 / ファインダー表示の切り換えを設定します。
タッチ設定	タッチ操作の有効、無効を設定します。
タッチ再生送り速度	タッチ操作で画像を連続して送るときの画像送りの速さを設定します。
メニューガイド	モードダイヤルを［SCN］/［🎨］に切り換えたときに表示される画面を設定します。

🔧［セットアップ］

時計設定	日時と表示方法を設定します。(P.17)
ワールドタイム	お住まいの地域と旅行先の時刻を設定します。
トラベル日付	旅行の日程を設定して撮影すると、旅行何日目に撮影したかが記録されます。
Wi-Fi	Wi-Fi 機能を使うために必要な各種設定を行います。(P.59)
電子音	電子音や電子シャッター音を設定します。
ライブビューモード	撮影時の画面（ライブビュー画面）の表示速度・画質を設定します。
モニター調整 /LVF 調整	モニター / ファインダーの明るさや色合いを調整します。
モニター輝度	周囲の明るさに応じて、モニターの明るさを設定できます。
エコモード	バッテリーの消耗を防ぐための設定ができます。
USB モード	USB 接続ケーブル（付属）でパソコンやプリンターに接続するときの通信方法を選びます。
テレビ接続設定	本機をテレビなどに接続したときの設定を変更します。
メニュー位置メモリー	最後に操作したメニューの選択位置を記憶します。
メニュー背景色	メニュー画面の背景色を設定します。

[セットアップ]（続き）

メニュー インフォメーション	メニュー画面にメニュー項目 / 設定内容の説明文を表示します。
バージョン表示	本体のファームウェアバージョンを確認できます。
露出補正リセット	撮影モード変更時および電源 OFF 時に露出補正量をリセットすることができます。
セルフタイマー自動解除	電源スイッチを［OFF］にすると、セルフタイマーが解除されます。
番号リセット	画像のファイル番号をリセットします。
設定リセット	設定をお買い上げ時の状態に戻します。
Wi-Fi 設定リセット	［Wi-Fi］で設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。
フォーマット	カードをフォーマット（初期化）します。（P.16）

[再生]

スライドショー	写真や動画を順に自動再生します。
再生モード	カテゴリーやお気に入りの画像など、設定した条件で表示する画像を絞り込むことができます。
位置情報記録	スマートフォンから送信された位置情報（緯度・経度）を画像に書き込むことができます。
RAW 現像	RAW 形式で撮影した写真をカメラで JPEG 形式で現像できます。（P.55）
クリアレタッチ	撮影した写真に写り込んだ不要な部分を消去できます。
タイトル入力	撮影した画像に文字（コメント）を入力します。
文字焼き込み	撮影した画像に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込みます。
動画分割	1 つの動画を 2 つに分割します。（P.56）
インターバル動画作成	インターバル撮影グループから動画を作成します。
コマ撮りアニメ作成	コマ撮りアニメグループから動画を作成します。
リサイズ（縮小）	画像のサイズ（記録画素数）を小さくします。
トリミング（切抜き）	写真を拡大して、必要な部分を切り抜きます。
画像回転	画像を手動で 90° ずつ回転させます。
縦位置自動回転	本機を縦に構えて撮影した写真を縦向きに表示させることができます。
お気に入り	画像にマークを付け、お気に入り画像として設定します。
プリント設定	プリントする画像や枚数などを設定します。
プロテクト	画像を誤って消去することがないように保護します。
認証情報編集	間違って個人認証された画像の認証情報を修正したり、解除します。
画像表示順	本機で画像を再生するときの表示順を設定します。
消去確認画面	画像消去時に表示される確認画面の選択肢［はい］/［いいえ］のどちらが最初に選ばれるかを設定します。

Q&A 故障かな？と思ったら

まず、以下の方法（P.77 ～ 80）をお試しください。

それでも解決できない場合は、［セットアップ］メニューの［設定リセット］を行うと症状が改善する場合があります。(P.76)
- 症状が改善しない場合は「保証とアフターサービス」（P.91）をお読みください。

- 「取扱説明書 活用ガイド」（PDF 形式）には、より多くが記載されています。併せてご確認ください。

電源スイッチを［ON］にしても動作しない。電源スイッチを［ON］にしてもすぐ切れる。
- バッテリーが消耗している。
- 電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。
  →［エコモード］を使うなどして、こまめに電源を切ってください。(P.75)

電源が勝手に切れる。
- ［エコモード］が働いている。(P.75)
- ビエラリンク（HDMI）の連動操作が働いている。
  →ビエラリンク（HDMI）を使用しない場合は、本機の［セットアップ］メニューの［テレビ接続設定］(P.75) の［ビエラリンク］を［OFF］に設定してください。

バッテリーの消耗が早い。
- ドライブモードを 4K フォトにし、［4K フォト］を［4K プリ連写］（4K プリ連写）に設定している。
  →［4K プリ連写］（4K プリ連写）で撮影できる状態では、バッテリーの消耗が早くなります。
  撮影するときだけ［4K プリ連写］（4K プリ連写）に設定してください。

撮影できない。シャッターを押しても、すぐにシャッターが切れない。
- ドライブモードを 4K フォトにし、［撮影］メニューの［4K フォト］を［4K プリ連写］（4K プリ連写）に設定しているときは、本機の温度が上昇します。本機を保護するため、［⚠］が表示されたあと、［4K 連写］（4K 連写）に切り換わり、撮影ができなくなる場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。

ピントが合わない。
- 撮影可能範囲から外れている。
- 手ブレや被写体ブレしている。
- ［フォーカス / レリーズ優先］が［レリーズ］になっている。(P.74)
- ［シャッター半押し AF］が［OFF］になっている。(P.74)
- 不適切な状態で AF ロック（P.42）がかかっている。

撮影した画像がブレる。手ブレ補正が効かない。
- 暗い場所でシャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働いていない。
  →脇を締め、本機を両手でしっかり持って撮影してください。
  →遅いシャッタースピードで撮影するときは、三脚とセルフタイマー（P.47）をお勧めします。
- 電子シャッターで撮影時は、動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。(P.43)

被写体が曲がって撮影される。
- 電子シャッター撮影時、動画撮影時または 4K フォト撮影時、動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。これは、本機の撮像素子である MOS センサーの特徴であり、異常ではありません。

蛍光灯や LED などの照明下で、ちらつきや横しまが出る。
- 本機の撮像素子である MOS センサーの特徴であり、異常ではありません。
- 電子シャッターで写真を撮影している場合は、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。(P.31)
- 動画撮影中、蛍光灯や LED などの照明下でちらつきや横しまが目立つ場合、［フリッカー軽減］(P.73) を設定すると、シャッタースピードを固定することで、ちらつきや横しまを軽減できます。シャッタースピードは［1/50］、［1/60］、［1/100］、［1/120］から選択できます。クリエイティブ動画モード（P.35）でも手動でシャッタースピードを設定できます。

撮影した画像の明るさや色合いが実際と違う。

- 蛍光灯や LED などの照明下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。
- 極端に明るい場所で被写体を撮影したり、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が現れたりすることがあります。

4K フォトの撮影が途中で止まる。

- 周囲の温度が高かったり連続で 4K フォトの［］（4K 連写）や［］（4K 連写（S/S））の撮影を行った場合は、本機の保護のため、［］が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。

動画が撮影できない。

- 容量の大きなカードをご使用の場合は、電源スイッチを［ON］にしたあとしばらくの間撮影できないことがあります。

動画撮影が途中で止まる。

- 周囲の温度が高かったり連続で動画撮影を行った場合は、本機の保護のため、［］が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。

一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される。

- 動画撮影時の環境によっては、静電気や強い電磁波（電波塔、高圧線など）により、一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。

4K 動画撮影時、オートフォーカスでピントが合いにくいことがある。

- 高い精度でピントを合わせるために、オートフォーカスの速度を抑えて撮影させる場合に生じる現象ですので、異常ではありません。

フラッシュが発光しない。

次の場合は発光しません。

- フラッシュを閉じている。（P.49）
- 電子シャッター使用時（P.43）
  →［シャッター方式］を［AUTO］または［メカシャッター］に設定してください。
- サイレントモード使用時（P.50）
  →［サイレントモード］を［OFF］に設定してください。

フラッシュが 2 回発光する。

- フラッシュは 2 回発光します。（［フラッシュ設定］（P.72）の［発光モード］を［マニュアル］に設定時を除く）
  特に赤目軽減（P.49）に設定している場合は、発光間隔が長くなりますので、2 回目の発光終了まで動かないようにしてください。

再生できない。撮影した画像がない。

- カメラにカードが入っていない。
- カードに再生できる画像がない。
- パソコンでファイル名を変更した画像ではないですか？その場合、本機で再生することはできません。
  →パソコンからカードに画像を書き込む場合は、CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うことをお勧めします。（P.64）
- ［再生モード］（P.76）を［通常再生］以外に設定している。
  →［再生モード］を［通常再生］に設定してください。

フォルダー・ファイル番号が［ー］で表示される。画像が黒く表示される。

- 規格外の画像やパソコンで編集、または他機で撮影した。
- 撮影直後にバッテリーを外した。または、残量が少ないバッテリーで撮影した。
  →パソコンなどに必要なデータを保存してから、本機でフォーマットして消去する。（P.16）

画面に［サムネイル表示］と表示される。

- 他機で撮影された写真ではないですか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。

本機で撮影した動画が他機で再生できない。

- 動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。

無線 LAN に接続できない。電波が途切れる。無線アクセスポイントが表示されない。

Wi-Fi 接続全般について

- 無線 LAN ネットワークの通信圏内でご使用ください。
- 2.4 GHz 帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くでご使用されていませんか？
  →同時に使用された場合、電波が途切れることがあります。機器から十分に離してご使用ください。
- バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。（［通信エラー］などのメッセージが表示されます）
- 本機を金属のテーブルや棚に置くと電波に影響し接続しにくくなる場合があります。金属面から離してご使用ください。

無線アクセスポイントについて

- 接続したい無線アクセスポイントが使用可能な状態になっているか確認してください。
- 無線アクセスポイントの電波状況によっては、無線アクセスポイントを表示できない、または接続できないことがあります。
  →無線アクセスポイントの近くで接続してください。
  →本機と無線アクセスポイントの間の障害物を取り除いてください。
  →本機の向きを変えてください。
  →無線アクセスポイントの置き場所や向きを変えてください。
  →［マニュアル入力］を行ってください。
- 無線アクセスポイントの設定内容によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。
  →無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手動で無線アクセスポイントの無線チャンネルを 1 ～ 11 チャンネルの中から選び、設定してください。
- 無線アクセスポイントのネットワーク SSID が非通知に設定されていませんか？
  →非通知に設定されている場合、検出されない場合があります。ネットワーク SSID を入力して設定してください。もしくは、無線アクセスポイントのネットワーク SSID の非通知設定を解除してください。
- 無線アクセスポイントにより接続方式やセキュリティーの設定方法が異なります。
  →無線アクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。
- 5 GHz/2.4 GHz 切り換え式の無線アクセスポイントが 5 GHz 帯で他の機器と接続中ではありませんか？
  →5 GHz/2.4 GHz 同時使用できる無線アクセスポイントのご使用をお勧めします。対応していない場合は本機と同時使用できません。

Wi-Fi 機能を使用してパソコン（Mac/Windows）に接続できない。

→カメラ本体と接続するパソコンの時計設定が大きくずれている場合、OS によっては接続できない場合があります。
カメラ本体の［時計設定］/［ワールドタイム］が、Windows の「日付と時刻」/「タイムゾーン」または、Mac の「日付と時刻」/「時間帯」と合っているか、ご確認ください。大きくずれている場合、合わせてください。

Windows 8 のパソコンと Wi-Fi 接続しようとすると、ユーザー名とパスワードが認識されず、接続できない。

- Windows 8 など、OS のバージョンによっては 2 種類のユーザーアカウント（ローカルアカウント /Microsoft アカウント）があります。
  →ローカルアカウントを設定して、必ずローカルアカウントのユーザー名とパスワードを使用してください。

Wi-Fi 接続でパソコンが認識されない。

- お買い上げ時は「WORKGROUP」というワークグループを使用します。ワークグループの名前を変更している場合は、認識されません。
  →［Wi-Fi 設定］の［PC 接続設定］の［変更する］で、接続するパソコンのワークグループ名へ変更してください。

パソコンに画像を送信できない。

- OS およびセキュリティーソフトウェアなどのファイアウォールが有効になっている場合、パソコンに接続できないことがあります。

画像送信が途中で失敗する。送信できなかった画像がある。

- バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、画像を送信できません。
- 画像のサイズが大きすぎませんか？
  →［動画分割］で動画を分割してください。（P.56）
  →［送信サイズ］で画像のサイズを小さくしてください。
- 送信先により送信できる画像のファイル形式は異なります。
- Web サービスの容量または枚数がいっぱいになっています。
  →「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインし、「Web サービス連携設定」で送信先の状況を確認してください。

テレビで動画再生できない。

- テレビにカードを入れている。
  →AV ケーブル（別売）または HDMI マイクロケーブルで接続し、本機で再生してください。

ビエラリンク（HDMI）が働かない。

- HDMI マイクロケーブルで正しく接続されていますか？
  →HDMI マイクロケーブルが奥まで確実に入っていることを確認してください。
- 本機の［セットアップ］メニューの［テレビ接続設定］（P.75）の［ビエラリンク］を［ON］に設定していますか？
  →テレビの HDMI 端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。（入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください）
  →接続した機器側のビエラリンク（HDMI）の設定を確認してください。
  →本機の電源を入れ直してください。
  →テレビ（ビエラ）の［ビエラリンク制御（HDMI 機器制御）］の設定を［しない］に変更し、再度［する］に設定してください。（詳しくはビエラの取扱説明書をお読みください）

レンズ部から音がする。

- 電源［ON］または［OFF］時にレンズ移動や絞り動作を行う音で、故障ではありません。
- ズーム操作や本機を動かしたときなどに明るさが変化することで自動的に絞り動作を行う音で、異常ではありません。

ズームの動きが一瞬止まる。

- EX 光学ズーム時、ズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。

本機が熱くなる。

- ご使用時、多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。

時計が合っていない。

- 本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。
  →再度時計を設定してください。（P.17）

使用上のお願いとお知らせ

・「取扱説明書 活用ガイド」（PDF 形式）には、より多くが記載されています。併せてご確認ください。

お使いのとき

- 磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビ、スピーカーや大型モーターなど）からはできるだけ離れて使ってください。
- 電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わないでください。
  - 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。
- 付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。また、コード、ケーブルは延長しないでください。
- 周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけないでください。
  - かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。

お手入れのとき

お手入れの際は、バッテリーまたは DC カプラー（別売：DMW-DCC8）、カード（別売）を取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ファインダー / アイカップのお手入れについて
  - アイカップは取り外しできませんので、汚れた場合などお手入れの際は、ブロワー（市販）でファインダーの表面のごみを吹き飛ばしてから、乾いた柔らかい布で軽くふき、外れないようお気をつけください。
  - 万一、強くこすってアイカップが外れた場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

しばらく使わないとき

- ゴムやビニール製品に接触させたままにしないでください。

レンズについて

- レンズ部を強く押さないでください。
- レンズ表面に汚れ（水、油、指紋など）がついた場合、画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前後は、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。
- 持ち運ぶときは、レンズを収納してください。

バッテリーについて

- 使用後は、必ずバッテリーを取り出す
  - 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類（クリップなど）から離して保管、持ち運びしてください。
- 出かけるときは予備のバッテリーを準備する

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
ホームページ http://www.jbrc.com

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

Wi-Fi 機能について

■本機は無線 LAN 機器としてお使いください

無線 LAN 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。無線 LAN 機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

■Wi-Fi 機能は日本での利用を前提としています

本機の Wi-Fi 機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

■電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください

- 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- 2.4 GHz 帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

■利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください

本機は、無線 LAN 機能を使用するときに無線ネットワーク環境の自動検索を行います。その際、利用する権限のない無線ネットワーク（SSID※）が表示されることがありますが、不正アクセスと見なされるおそれがありますので、接続しないでください。

※SSID とは、無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- “AVCHD”、“AVCHD Progressive”、および “AVCHD Progressive” のロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Adobe は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iMovie、Mac、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPad、iPhone、iPod、iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Android および Google Play は Google Inc. の商標または登録商標です。
- “Wi-Fi CERTIFIED™” ロゴは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup™ 識別マークは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
- “Wi-Fi®”、“Wi-Fi Direct®” は “Wi-Fi Alliance®” の登録商標です。
- “Wi-Fi Protected Setup™”、“WPA™”、“WPA2™” は “Wi-Fi Alliance®” の商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
（ｉ）画像情報を AVC 規格に準拠して（以下、AVC ビデオ）記録すること。
（ii）個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。
詳細については MPEG LA, L.L.C. ホームページ（http://www.mpegla.com）をご参照ください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

（1）パナソニック株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
（2）第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
（3）オープンソースソフトウェア

上記（3）に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。
詳細は、［MENU/SET］ボタン→［セットアップ］→［バージョン表示］→［ソフト情報］で表示されるライセンス条件をご参照ください。

- 付属の USB 接続ケーブル、または当社製 USB 接続ケーブル（別売：DMW-USBC1）以外は使用しないでください。
- 当社製 AV ケーブル（別売：DMW-AVC1）をお使いください。
- 当社製シャッターリモコン（別売：DMW-RSL1）をお使いください。
- HDMI ロゴがあり、4K に対応したハイスピード HDMI マイクロケーブル（2 m まで）をお使いください。
- ケーブルは延長しないでください。

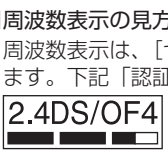
無線 LAN 使用上のお願い

■使用周波数帯

本機は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■周波数表示の見方

周波数表示は、［セットアップ］メニュー →［Wi-Fi］の［認証情報］で確認できます。下記「認証情報の表示方法」をご覧ください。



本機が 2.4 GHz 周波数帯を使用する DSSS と OFDM 変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 40 m であることを意味します。

無線 LAN 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。

2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。

3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック LUMIX（ルミックス）ご相談窓口　365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-638（パナは ルミっくすパチ！）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187　■FAX フリーダイヤル 0120-878-236

■認証情報の表示方法

本機の認証情報を表示するには、次の順で選択してください。

1 **［セットアップ］メニューの［Wi-Fi］を選ぶ**

2 **［Wi-Fi］から［Wi-Fi 設定］を選ぶ**

3 **▲▼で［認証情報］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す**

■無線 LAN 接続について

本機は公衆無線 LAN 環境を経由して無線 LAN 接続することはできません。

仕様

電源	DC 8.4 V（⎓ 8.4 V）
消費電力	2.1 W（モニター撮影時）、2.4 W（ファインダー撮影時） 1.6 W（モニター再生時）、1.6 W（ファインダー再生時）

カメラ有効画素数	1210 万画素
撮像素子	1/2.3 型 MOS センサー　総画素数 1280 万画素、 原色カラーフィルター
レンズ	光学 24 倍ズーム f=4.5 mm ～ 108 mm （35 mm フィルムカメラ換算：25 mm ～ 600 mm） W 端時：F2.8 ～ F8.0（動画撮影時：F2.8 ～ F11） T 端時 ：F2.8 ～ F8.0（動画撮影時：F2.8 ～ F11） フィルター径 Φ 52 mm
手ブレ補正	光学式
撮影範囲	AF： 30 cm（W 端時）/2 m（T 端時）～∞ AF マクロ /MF/ インテリジェントオート / 動画： 1 cm（W 端時）/1 m（T 端時）～∞
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
最低被写体照度	約 9 lx（i ローライト時、シャッタースピード 1/30 秒）
シャッタースピード	写真：B（バルブ）（最大約 60 秒間）、 60 秒～ 1/4000 秒（メカシャッター使用時） 1 秒～ 1/16000 秒（電子シャッター使用時） 動画：1/25 秒～ 1/16000 秒（AVCHD で［FHD/24M/24p］設定時、MP4 で［4K/100M/24p］設定時） 1/2 秒～ 1/16000 秒（クリエイティブ動画モードで［M］を選択時、MF） 1/30 秒～ 1/16000 秒（上記以外）
露出	プログラム AE（P）、絞り優先 AE（A）、 シャッター優先 AE（S）、マニュアル露出（M）、オート 露出補正（1/3EV ステップ、-3EV ～ +3EV）
測光方式	マルチ測光 / 中央重点測光 / スポット測光
モニター	3.0 型 TFT 液晶（3:2）（約 104 万ドット）（視野率約 100%） タッチパネル
ファインダー	0.39 型有機 EL ライブビューファインダー（4:3） （約 144 万ドット） （視野率約 100%） ［倍率 約 3.88 倍、約 0.7 倍（35 mm フィルムカメラ換算）、 -1 m^{-1} 50 mm 無限遠時］ （視度調整付き -4 ～ +4 diopter）
フラッシュ	内蔵ポップアップ式 オート / 赤目軽減オート / 強制発光 / 赤目軽減強制発光 / スローシンクロ / 赤目軽減スローシンクロ / 発光禁止
マイク	ステレオ
スピーカー	モノラル
記録メディア	SD メモリーカード /SDHC メモリーカード※/SDXC メモリーカード※ ※UHS-Ⅰ UHS Speed Class 3 対応

記録画像ファイル形式	
写真	RAW/JPEG（DCF 準拠、Exif2.3 準拠、DPOF 対応）
動画	AVCHD Progressive/AVCHD/MP4
音声圧縮方式	AVCHD：Dolby® Digital（2ch） MP4：AAC（2ch）
インターフェース	
デジタル	USB 2.0（High Speed）
アナログビデオ	NTSC コンポジット
オーディオ	オーディオライン出力（モノラル）
端子	
[REMOTE]	Φ 2.5 mm ジャック
[HDMI]	microHDMI D タイプ
[AV OUT/DIGITAL]	専用ジャック（8pin）
[MIC]	Φ 3.5 mm ジャック
寸法	約 幅 131.6 mm ×高さ 91.5 mm ×奥行き 117.1 mm （突起部除く）
質量	約 691 g（カード、バッテリー含む） 約 640 g（本体）
推奨使用温度	0 ℃～ 40 ℃
許容相対湿度	10%RH ～ 80%RH
防じん防滴	あり
言語切り換え	なし（日本語のみ）

■ワイヤレス転送部

準拠規格	IEEE 802.11b/g/n（無線 LAN 標準プロトコル）
使用周波数範囲 （中心周波数）	2412 MHz ～ 2462 MHz（1 ～ 11ch）
暗号化方式	Wi-Fi 準拠　WPA™/WPA2™
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

■専用バッテリーチャージャー：DE-A79A

定格入力	100 V ー 240 V　50/60 Hz
入力容量	14 VA（100 V）ー 22 VA（240 V）
定格出力	DC 8.4 V　0.65 A

■リチウムイオンバッテリーパック：DMW-BLC12

電圧 / 容量	7.2 V/1200 mAh

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

さらに詳しい説明は

本機操作の詳細については、CD-ROM（付属）の「取扱説明書 活用ガイド」に記載されています。

■Windows の場合

1 **パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）を入れる**

- 自動再生画面が表示された場合、［Launcher.exe の実行］を選ぶと、メニューを表示できます。
- Windows 8.1 / Windows 8 では CD-ROM を入れたあとに表示されるメッセージをクリックし、［Launcher.exe の実行］を選ぶと、メニューを表示できます。
- ［コンピューター］内の［SFM ○○○○］をダブルクリックすることでもメニューを表示できます。
  （○○○○は機種によって異なります）

2 **［取扱説明書］をクリックする**

- 「取扱説明書 活用ガイド」（PDF 形式）が開きます。パソコンに保存することもできます。

● 「取扱説明書 活用ガイド」（PDF 形式）を閲覧・印刷するためには、Adobe Reader が必要です。
Adobe Reader は、下記のサイトからダウンロードできます。（2015 年 7 月現在）
http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep2.html

■Mac の場合

1 **パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）を入れる**

2 **CD-ROM の「Manual」フォルダーを開く**

3 **PDF ファイルをダブルクリックする。**

- 「取扱説明書 活用ガイド」（PDF 形式）が開きます。パソコンに保存することもできます。

「取扱説明書 活用ガイド」は、下記サポートサイトでもご覧いただけます。
http://panasonic.jp/support/dsc/

● スマートフォン / タブレットでも取扱説明書をご覧いただけます。詳しくは、お使いのパソコンなどで、上記のサポートサイトをお読みください。

CLUB Panasonic ご愛用者登録のご案内

このたびは、パナソニック商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
さて、弊社ではより良い商品とサービスをお客様にご提供できるようにパナソニック商品をご購入の方にご愛用者登録をお願いしています。
ぜひ、この機会にご愛用者登録をお願いいたします。

※皆様の貴重なご意見を、製品の開発や改善の参考とさせていただきたいと思いますので、アンケートにもご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご登録特典 1	**家電情報をまとめて登録／管理** 購入年月や製造番号などをＭｙ家電リストに保存できます。
ご登録特典 2	**商品情報をスムーズに入手** Ｑ＆Ａや取扱説明書など、商品に関する情報が見られます。
ご登録特典 3	**エンジョイポイントがたまる** たまったポイントでプレゼントに応募できます。

お問い合わせ先：CLUB Panasonic 事務局（club-info @ panasonic.jp）

ご登録手順

下記のいずれかを選んでください。

■パソコンからの登録方法

次のアドレスにアクセスしてください。
http://club.panasonic.jp/

■携帯電話からの登録方法

携帯電話から登録する場合は、携帯電話のメールアドレスが必要です。

- 二次元バーコードを使ってアクセスする場合

- URL を入力してアクセスする場合
  http://mobile.club.panasonic.jp/

■スマートフォンからの登録方法

パナソニックが提供するスマートフォン専用アプリを使うとさらに簡単に登録できます。詳しくは 90 ページをご覧ください。

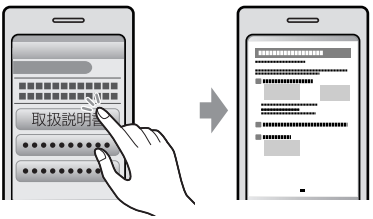
「パナソニックスマートアプリ」のご案内

Panasonic Smart App

「パナソニックスマートアプリ」について
パナソニックの商品を、スマートフォンで楽しく快適に使うための統合アプリです。

「パナソニックスマートアプリ」で取扱説明書を読む

スマートフォンに取扱説明書を簡単にダウンロードできます。



お出かけ先で困ったときにもすぐ参照できる

■カメラとスマートフォンをご自宅の無線アクセスポイント（無線 LAN ルーター）につないで、ご愛用者登録することができます

■カメラを操作できる「Panasonic Image App」などのアプリを一括で管理できます

■お楽しみコンテンツ・サービスの利用や、ソフト更新情報、キャンペーンなど、各種のお得な情報を入手できます

「パナソニックスマートアプリ」のダウンロード方法や使い方はこちら

http://panasonic.jp/pss/ap/

- 「パナソニックスマートアプリ」のご利用にはパナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」のログイン ID が必要です。本アプリからも新規会員登録いただけます。
- 「パナソニックスマートアプリ」は無料です。ダウンロードには別途通信料が発生します。
- インターネット接続ができない環境では、本アプリをご利用になれません。
- スマートフォンの対応 OS やサポート機種は上記サイトにてご確認いただけます。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理 などは
■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	(　　)　　－
お買い上げ日	年　月　日

修理を依頼されるときは

「メッセージ表示」「Q&A 故障かな？と思ったら」(71 ページと 77 ～ 80 ページ、ならびに取扱説明書 活用ガイド（PDF 形式)) でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	デジタルカメラ
●品　番	DMC-FZ300
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間
（但し、CD-ROM 内のソフトウェアの内容は含みません）

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。
※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用
部品代 部品および補助材料代
出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 5 年

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 5 年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://www.panasonic.com/jp/support/

パナソニック LUMIX（ルミックス）ご相談窓口　365日 受付9時～20時

パナは　ルミっくすパチ！

電話 フリーダイヤル 0120-878-638

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187　■FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●パナソニックスマートアプリの使いかたなどのご相談は

パナソニック スマートアプリのご紹介サイト

http://panasonic.jp/pss/ap/

パソコン、スマートフォンのどちらからでもご覧になれます。

スマートフォンを使った 無線アクセス機能ご相談窓口　365日 受付9時～20時

パナは　ハチサンニ

電話 フリーダイヤル 0120-878-832

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●宅配修理サービスのご案内

（Web サイトからもお申し込みいただけます）

パナソニック 修理サービスサイト

http://lumix.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

お申込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。（保証期間内は無料です）

地域窓口へ直接お持ち込みされる場合は、ホームページにて地図を掲出しております。
http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/repair/area.html

■ 各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札 幌	☎(011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭 川	☎(0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
	帯 広	☎(0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
	函 館	☎(0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青 森	☎(0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
	秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福 島	☎(024)991-9308	郡山市備前舘2丁目5
首都圏地区	栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼 玉	☎(048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番
	川 口	☎(048)297-7820	川口市戸塚2丁目23-20
	千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東 京	☎(03)5303-6901	東京都杉並区本天沼3丁目43-16
	秋葉原	☎(03)3251-4616	千代田区外神田1丁目8-1第三電波ビル
	立 川	☎(042)537-5611	立川市幸町4丁目3-1
	山 梨	☎(055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
	神奈川	☎(045)828-2180	横浜市戸塚区品濃町561-4
	新 潟	☎(025)286-0180	新潟市中央区神道寺2丁目7-1
中部地区	石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静 岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐 阜	☎(058)255-5784	岐阜市西河渡3丁目73
	三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。

また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。

個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

近畿地区	滋賀	☎(077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
	京都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎(06)7730-8888	東大阪市長田東1丁目3-12
	奈良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	松江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎(096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
	鹿児島	☎(099)246-7050	鹿児島市上荒田町27-4
沖縄地区	沖縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/repair/area.html

0515

愛情点検　長年ご使用のデジタルカメラの点検を！

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が乱れたり出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体やチャージャーが破損した
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、本体の電源を切り、充電時はコンセントからチャージャーを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   （イ）無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
   （ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   （イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   （ロ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
   （ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
   （ホ）電池や、消耗または摩耗した部品交換の場合
   （ヘ）一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
   （ト）本書のご添付がない場合
   （チ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   （リ）持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
※This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

デジタルカメラ保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品　番	DMC-FZ300
保証期間	お買い上げ日から **本体 1年間** （但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません）
※ お買い上げ日	年　月　日
※ お客様	ご住所 お名前　様 電　話（　）　－
※ 販売店	住所・販売店名 電話（　）　－

見本

パナソニック株式会社　AVCネットワークス社
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号　TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。